

令和6年度

さかほぎ

教育のあゆみ



令和6年4月4日（木） 郷土資料館リニューアルオープンイベントにて（黒岩祭り囃子）

坂祝町教育委員会

目 次

I	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	坂祝町民憲章・・・・・・・・・・・・・・・・	2
III	坂祝町教育夢プラン「さかほぎいきいきプラン」・・・・・・・・	3
IV	学校教育	
1	坂祝町立幼稚園・小中学校教育指導の方針と重点・・・・・・・・	5
2	「さかほぎいきいきプラン」指導系統表・・・・・・・・	9
3	学校評価結果・・・・・・・・	11
4	コミュニティ・スクール・・・・・・・・	19
5	学校給食センター・・・・・・・・	24
V	社会教育	
1	家庭教育・・・・・・・・	25
2	青少年育成・・・・・・・・	41
3	子ども会育成協議会・・・・・・・・	45
4	二十歳を祝う会・・・・・・・・	46
5	公民館活動・・・・・・・・	48
6	図書室・・・・・・・・	63
7	文化協会・・・・・・・・	71
8	社会体育(全般)・・・・・・・・	72
9	放課後子どもプラン推進事業・・・・・・・・	77
10	文化財・・・・・・・・	79
11	人権教育・・・・・・・・	84
VI	教育委員会評価・・・・・・・・	86

Ⅱ はじめに

坂祝町 教育の未来へ向けて

坂祝町における教育の歴史を振り返るとき、私たちは幾多の挑戦と成果の積み重ねに支えられてきたことを実感します。本冊子「坂祝町教育の歩み」は、令和6年度に私たちが歩んできた道のりを記録し、未来への指針を見出すための大切な資料です。

これまで坂祝町では、地域の皆さまとともに「豊かな心を育む教育・文化のまち」（坂祝町第7次総合計画 基本目標1）をめざして取り組んでまいりました。学校、家庭、地域が一体となった教育環境の実現をめざし、子どもたち一人ひとりが自らの可能性を見だし、豊かな人間性を育む場を提供してきたことは、町の誇りと言えます。

学校教育においては、人との関り、コミュニケーションを通して、「豊かな心をもち、自ら実践するたくましい坂祝の子」を育成するために、園・小・中学校の連携を中心に、コミュニティスクールの支援を受けながら実践を積み重ねてまいりました。また、社会教育の分野においても地域の皆さまが主人公となり、関わり合いながら坂祝の文化を守り、育んでくださいました。

そこには多世代・多文化がつながり、人づくりが営まれてきました。これこそが坂祝の未来を紡ぐものであり、私たち町民の使命であると思います。

その思いを地域の皆さまと共有し、子どもたちのみならず、大人が互いに学び合い、支え合う教育をこれからも進めていきたいと考えています。急速に変化する社会の中で、教育は常に柔軟で、創造的でなければなりません。本町の教育が未来を担う子どもたちにとって力強い支えとなるよう、全力を尽くしていく所存です。

最後になりますが、本冊子の編纂にご尽力いただいた関係者の皆さま、また日々町の教育を支えてくださっているすべての方々に心から感謝申し上げます。坂祝町の教育がこれからも輝かしい未来を築く礎となることを祈念し、巻頭の言葉とさせていただきます。

令和7年3月

坂祝町教育長 三品 芳則

Ⅱ 坂祝町民憲章

名勝木曽川の清流と緑にかこまれ 自然環境に
恵まれたひらけゆく郷土です
この町を愛し さらに明るく住みよい町を築くため
ここに町民憲章を定めます

一、わたくしたちは 恵まれた自然をいかし
環境をととのえ 住みよい町をつくりま
す

一、わたくしたちは 心と心で結ばれた 思い
やりのある町をつくります

一、わたくしたちは 教養を深め文化の香り高
い町をつくります

一、わたくしたちは 楽しい家庭を築き ゆた
かな心を育てる町をつくります

一、わたくしたちは 仕事に責任と誇りをも
ち 健康で明るい町をつくります

Ⅲ 坂祝町教育夢プラン

令和6年度坂祝町教育夢プラン

坂祝町教育大綱

(令和3年度～令和12年度)

さかほぎいきいきプラン

めざす子どもの姿

豊かな心を持ち、自ら実践するたくましい坂祝の子



園・学校

<方針>

- 園・小・中連携のもとで、一人一人に「生きる力」を育む指導をする。
- 園や学校の保育・教育目標が、一人一人の子どもの姿に具現される園・学校経営をする。

【園・学校で育む力 = 「生きる力」】

- ・豊かさ…豊かな人間性や社会性
- ・確かさ…課題解決に向け自ら考え、仲間と共に、新たな価値や創造を生み出す力
- ・たくましさ…自己実現に向けた粘り強くやり抜く力

家庭

<方針>

- あたたかい家庭を築き、豊かな人間性や社会性を育む心の教育に努める。
- ふれあいや共同体験を大切に、たくましく生きる力、共に生きる力の基盤を育てる。

【家庭で育む力】

- ・あたたかさ…愛情に裏付けられた信頼関係
 - ・かしこさ…自分で考え行動する力
 - ・たくましさ…自分の決めたことをやり抜く力
- <家庭教育に関わる具体的な活動>
- ・乳幼児期家庭教育学級
 - ・園・小・中家庭教育学級
 - ・つどいの広場アンブレラ

<3つの共通実践>

あいさつ ルール・マナー 共に活動

地域

<方針>

- 園・学校・家庭・地域が連携を図り、青少年の健全育成をまちぐるみで推進する。
- 地域の活動に積極的に参加し、環境づくりやまちづくりに主体的に寄与しようとする心を育てる。

【地域で育む力】

- ・地域での役割を担う活動づくりを通して、社会の一員としての意識を育む。
- ・大人自らが手本となる行動をとることによって、社会のモラルを育成する。
- ・信頼感に満ちた地域の人間関係を築くことによって、共生と協働の意識を育てる。
- ・ふるさととの自然、歴史、文化、産業に触れる体験を通して、地域ぐるみで「ふるさと さかほぎ」を愛する心を育てる。

<地域教育に関わる具体的な団体及び活動>

- ・青少年育成町民会議 ・子ども会育成協議会 ・放課後子ども対策実行委員会 ・子ども子育て会議
- ・学校地域安全サポートチーム ・子どもの読書活動推進委員会 ・坂祝スポーツクラブ
- ・坂祝中学校クラブ ・スポーツ少年団 ・各種ボランティア活動

園・学校と地域が一体となった 坂祝町コミュニティ・スクールの取り組み

園・学校運営協議会、地域・園・学校協働本部

坂祝町第7次総合計画 (令和3年度～令和12年度)

《基本目標1》「豊かな心を育む教育・文化のまち」

- 1 学校教育
 - ・個に応じたきめ細やかで一貫した教育を充実させ、子どもの確かな学力や生きる力を育む。
 - ・コミュニティ・スクールの一層の充実により、地域総がかりで子どもたちを育む。
- 2 社会教育
 - ・生涯学習の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らせる環境をつくる。
- 3 青少年健全育成
 - ・家庭や地域、行政が連携・協力して、子どもが安心して学び、遊ぶことができる環境を整備し、健全な成長を促す。
- 4 文化芸術・文化財
 - ・歴史や文化に対する理解を高め、維持・継承にかかわる活動を支援することで、地域の伝統を次世代へと引き継ぐ。
- 5 社会体育
 - ・スポーツ活動の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らせる環境をつくる。

新しい風を力に 魅力にあふれ
住み心地のよいまち さかほぎ

めざす子どもの姿



豊かな心を持ち、自ら実践するたくましい坂祝の子

自立と共生

中学校

- ・自分らしさを自覚し、自己の目標に向けて、粘り強く努力できる。
- ・自分の言動に責任を持ち、自分の役割を最後までやり抜くことができる。
- ・自分の思いや考えを、相手に伝わるように論理的に表現できる。

- ・互いの願いや思いを大切にし、実現に向けて高め合うことができる。
- ・集団生活の向上のために、それぞれの立場で力を出し合い、協力することができる。
- ・豊かな表現力を身につけ、相手と円滑にコミュニケーションを図ることができる。

小学校

- ・自分のことは自分ででき、自分でやろうと決めたことに粘り強く努力できる。
- ・自分の役割を自覚し、最後まで責任をもってやり抜くことができる。
- ・自分の考えを持ち、相手に分かるように根拠を明らかにして話すことができる。

- ・誰とでも分け隔てなく接し、相手の立場や気持ちを考えて行動できる。
- ・仲間と関わり合いながら、協力して活動することができる。
- ・相手の話を、自分の考えと比べながら聞くことができる。

幼児期

- ・衣服の着脱、食事、排せつなど、生活に必要な身の回りのことが自分でできる。
- ・自分から進んで楽しく遊ぶことができる。
- ・自分の思いを、言葉で伝えることができる。

- ・約束やきまりを守って、みんなが使うものを大切にできる。
- ・遊びを工夫し、友達と関わりながら仲良く活動することができる。
- ・先生や友達の話す、しっかりと聞くことができる。

乳児期

親と子の愛情の絆

- ・食事や睡眠の時間を明確にし、一日のリズムを整え、健康な生活環境を整える。
- ・愛情をもって接し、たくさんの言葉かけ、スキンシップを図って愛着形成に努める。
- ・子育て仲間をつくり、互いの情報交換をし、育児を楽しむ。



妊娠期

健康保持と子育てのイメージづくり

- ・生まれてくる赤ちゃんが成長するイメージを思い描き、そのための情報を得る。
- ・お腹の赤ちゃんのためにバランスのよい食事を摂り、健康な生活を心がける。
- ・生まれてくる赤ちゃんを家族みんなで迎える準備をし、心穏やかに過ごす。



Ⅳ 学校教育

令和6年度

坂祝町立幼稚園・小中学校教育指導の方針と重点



坂祝町教育委員会

【めざす子どもの姿】

豊かな心を持ち、自ら実践するたくましい坂祝の子

【方 針】

- 幼稚園・小学校・中学校連携のもとで、一人一人に「生きる力」を育む指導をする。
- 園や学校の教育目標が、一人一人の子どもの姿に具現される園・学校経営をする。

【「生きる力」のとらえ】

豊かさ…豊かな人間性や社会性
確かさ…課題解決に向け自ら考え、仲間と共に、新たな価値や創造を生み出す力
たくましさ…自己実現に向けた粘り強くやり抜く力

【3つの共通実践】

- あいさつ
- ルール・マナー
- 共に活動

坂祝町第7次総合計画（令和3年度～令和12年度）

《基本目標1》 「豊かな心を育む教育・文化のまち」

1 学校教育

- ・個に応じたきめ細やかで一貫した教育を充実させ、子どもの確かな学力や生きる力を育む。
- ・コミュニティ・スクールの一層の充実により、地域総がかりで子どもたちを育む。

2 社会教育

- ・生涯学習の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らせる環境をつくる。

3 青少年健全育成

- ・家庭や地域、行政が連携・協力して、子どもが安心して学び、遊ぶことができる環境を整備し、健全な成長を促す。

4 文化芸術・文化財

- ・歴史や文化に対する理解を高め、維持・継承にかかわる活動を支援することで、地域の伝統を次世代へと引き継ぐ。

5 社会体育

- ・スポーツ活動の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らせる環境をつくる。

新しい風を力に 魅力にあふれ
住み心地のよいまち さかほぎ

第4次 坂祝町子どもの読書活動推進計画（令和6年度～令和10年度）

【坂祝町子ども読書活動推進スローガン】

『本開き 無限の世界へ旅しよう！』

<運営>

◎…本年度の重点項目

園・学校経営 全教職員が協力して活力ある園・学校経営をする

- ・管理職は確固たる教育理念をもち、教職員一人一人が崇高なる使命感と高い倫理観をもって教育指導に当たることができるよう指導性を発揮するとともに、全教職員を生かす機能的な運営組織を確立する。
- ・学習指導要領・幼稚園教育要領を遵守するとともに、園・学校や地域の特色等を生かした創意ある教育課程を編成・実施する。
- ・園児・児童生徒の命を守りきることを最優先に考え、全教職員が危機意識をもって一人一人の安全・安心の確保に努め、園・学校内外の環境を見直すとともに、家庭・地域・関係機関等との連携の強化を図り、適切かつ確実な危機管理体制を確立する。

◎園・学校の教育方針や指導改善に向けた方針などについて、家庭や地域社会に積極的に情報提供するとともに、学校評価や園児・児童生徒の実態を園・学校経営や指導の改善に生かし、その状況を公表することにより、開かれた園・学校づくりを推進する。

- ・教職員の資質や指導力の向上のため、園内・校内研究とともに、コンプライアンスについての園内・校内研修を組織的・計画的に実施する。
- ・教職員が心身共に健康で、やりがいをもって教育活動に取り組めるよう、教職員の勤務の適正化を推進し、園・学校経営の充実を図る。

研修 自己の課題を明確にし、主体的に研修を進め、確かな指導力を身に付ける

- ・教育公務員としての使命を自覚し、資質の向上を図るため、教員育成指標を基にした面談等を通して、経験年数や職務等に応じ、自己の課題を明確にし、課題解決のために継続的な研修を行う。

◎授業及び校務等にICTを効果的に活用するための研修を行うとともに、園児・児童生徒にICT活用や情報モラルについて、より効果的に指導する力を高める研修を行う。

- ・特別な教育的支援を必要とする園児・児童生徒の教育的なニーズに対応するため、全教職員の指導力向上及び園・校内の支援体制の充実について、組織的・計画的に研修を行う。

<指導>

幼稚園指導 発達の課題に即し、遊びを通した総合的な指導をする

- ・幼児期にふさわしい生活が展開され、適切な指導が行われるよう指導計画を作成するとともに、PDCAサイクルによる改善を図る。

◎身近な環境に進んで関わり、心身の調和のとれた発達の基礎を培う活動が展開できるよう、幼児理解に基づき意図的・計画的に環境の構成を工夫する。

- ・基本的な生活習慣の形成を図るとともに、幼児相互の関わりや身近な自然に親しむ活動を通して、幼児期にふさわしい道徳性の芽生えを培うなど、心の教育の充実を図る。
- ・人と関わる楽しさや喜びを味わうとともに、自分の思いを言葉で伝え合うことができるよう活動を工夫する。
- ・集団生活のきまりの大切さに気付き、守ることができるよう、一人一人に応じた規範意識の芽生えを培う指導・援助を行う。
- ・特別な教育的支援を必要とする園児一人一人の特性を理解し、発達の状態や教育的ニーズに応じた合理的配慮に努める。

教科指導 知識及び技能の習得を図り、思考力、判断力、表現力等を育成し、学びに向かう力、人間性等を涵養することが実現されるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う

- ・ICTを最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を行う。

- ・学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」を実現する。

- ・子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」を実現する。

◎習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相

互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりすることに向かう「深い学び」を実現する。

道徳教育 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う

- ・学校における道徳教育の方針を明確にし、道徳教育推進教師を中心として全教職員が協力して展開する指導体制を充実する。「ぎふいのちの教育」に関する内容を位置付ける。
- ・「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」という。）を要として教育活動全体を通して道徳性が養われるよう、小・中学校の連携を図り、児童生徒の発達の段階や特性を踏まえるとともに、道徳科と他の教育活動との関連を明確にした指導計画を工夫改善する。

◎道徳的価値の理解を自分との関わりで考えるとともに、多様な感じ方や考え方に接して物事を多面的・多角的に考えるなど、主体的に自己の生き方についての考えを深める道徳科授業の充実を図る。

- ・豊かな体験を通して道徳性が養われるよう、家庭や地域社会と連携し、「ふるさと教育」や「1家庭1ボランティア」等の実践に取り組むなど、地域ぐるみの道徳教育を推進する。

外国語教育 外国語を通じてコミュニケーション能力の素地を養う

- ・指導目標と指導内容を理解するとともに、児童の実態や学習段階を考慮し、4学年間を通じた指導計画を工夫改善する。

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせて、コミュニケーションを図ることができる活動を設定するとともに、主体的にコミュニケーションを図る姿が具現されるよう指導方法等を工夫する。

◎校内研修の充実を図るとともに、担任（T1）とALT（T2）の連携したチームティーチング（TT）で、授業の充実を図る。

総合的な学習の時間 探究的な学習を通して、よりよく課題を解決し自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てる

◎学習指導要領の趣旨や目標と学校の教育目標とを踏まえ、各学校において定める目標及び内容を設定するとともに、各教科等との関連を一層明確にし、課題意識が連続発展するよう全体計画及び指導計画を工夫改善する。

- ・探究的な見方・考え方を働かせ、身に付けた知識及び技能を相互に関連付け、総合的に働かせるよう、体験活動と言語活動を意図的に設定し、探究活動を充実する。
- ・育てようとする資質・能力に基づいて一人一人の学習の状況や成果を把握し、適切な評価を行い、指導・援助を充実する。

特別活動 集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を育てる

- ・各学校の重点目標を明確にし、児童生徒の実態や発達の段階を考慮して、他の教育活動や内容相互の関連を図るとともに、児童生徒が自己（人間）の生き方についての考えを深め、新たな目標や課題がもてるよう指導計画を工夫改善する。

◎児童生徒の自発的、自治的な活動（いじめ問題への取組等）を展開し、一人一人の児童生徒が自分に自信をもち自分のよさや可能性を発揮して、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとすることができるよう、指導と評価を一層工夫改善する。

- ・学級の諸問題を解決する活動を通して、望ましい人間関係や学級集団としてのまとまりを育て、学級経営を充実する。

人権教育 お互いを認め合い尊重し合いながら、共に生きる力を育てる

- ・教育活動全体を通して、人権尊重に関わる指導や偏見・差別（性同一性障がいや性的指向・性自認に係ることも含む）を許さない人権感覚にあふれる教育の推進を図る。

◎互いのよさや違いを認め合い、支え合う温かい人間関係の醸成を図る。

読書・読み聞かせ活動 言葉の教育を通して、心豊かな人間性と表現力の素地を培う

◎子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をよりよく生きる力を身に付けていく上で欠くことができない読書や読み聞かせの時間の充実を図る。

ふるさと教育 ふるさとをよく知り、ふるさとへの愛着を育む

◎小・中学校の一貫した「ふるさと教育（仮称：坂祝科）」の推進に向け、各教育段階に応じ、ふるさとの自然・歴史・文化・産業等を体験して学ぶ取組を実施する。

生徒指導 共感的な園児・児童生徒理解に徹し、よりよい人間関係の形成を図り、自己指導能力を育てる

- ・一人一人の園児・児童生徒理解の深化を図る。
 - ・生徒指導の基盤となる、教師と園児・児童生徒及び保護者との信頼関係を築く。
 - ・特別な配慮を要する園児・児童生徒に対して、当該園児・児童生徒の特性を踏まえた適切な支援を行う。（不登校児童生徒、障がいのある園児・児童生徒、海外から帰国した園児・児童生徒、外国人の園児・児童生徒、性同一性障がいや性的指向・性自認に係る園児・児童生徒、被災園児・児童生徒など）
- ◎自他を尊重し、互いの身になって考え、相手のよさを見付けようと努める集団、互いに協力し合い、主体的によりよい人間関係を形成していこうとする集団づくりを進める。
- ・児童生徒が一人一人の学習の目標をもって意欲的に生き生きと授業に参加し、分かる喜びや学ぶ意義を実感できる授業づくりを進める。
 - ・園児・児童生徒の健全育成を広い視野から考える開かれた生徒指導の推進を図る。（全教職員の共通理解、協力体制・指導体制の整備、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力）

キャリア教育 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる

- ・キャリア教育について全教職員の理解を深め、基礎的・汎用的能力の実態から育成すべき能力や態度を重点化するとともに、小・中学校の連携を図り、児童生徒の発達段階に応じた全体計画、題材系統図及び年間指導計画を工夫改善する。
- ◎望ましい勤労観・職業観が育つよう、他の教育活動との関連を図り、ねらいを明確にした体験活動等を位置付けるとともに、キャリアパスポートを活用しながら、事前や事後の指導を充実する。
- ・一人一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて自分のよさを生かし、主体的に進路選択ができるよう、個々の発達を踏まえた指導・援助を工夫したり、正確な情報提供や説明及びそれらに基づいた学習等のガイダンスの機能を充実したりする。

健康教育 運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる

- ・地域や学校の実態並びに体力・運動能力、食生活等の生活習慣、心身の健康状態、安全に対する意識・行動を的確に把握し、園児・児童生徒の発達の段階を踏まえた指導内容の明確化・重点化を図り、各教科等及び学年・校種間の関連を図った指導計画を工夫改善する。
 - ・健康で安全に生き抜く力が育つよう、各教科等の特質及び相互の関係を踏まえつつ、それぞれの目標やねらいの実現を目指した指導方法を工夫改善し、個に応じた指導の一層の充実を図る。
- ◎園児・児童生徒の健康・安全を守りきるために、管理職は教職員の役割や専門性を生かし、学校と家庭、地域が連携した組織体としての総合的な力を発揮して、地域や学校の実態に応じた実効性のある対策を徹底し、健康被害や事件事故及び自然災害等による被害の未然防止に万全を期す。また、災害種別や状況等を工夫した実践的な「命を守る訓練（洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域の避難確保計画・訓練を含む）」を位置付けるとともに、防災教育を系統的・体系的に実施できるよう工夫改善する。

特別支援教育 一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる

- ・管理職のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターを中心として、特別支援学校や医療機関等と連携を図り、一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、全教職員が組織的に合理的配慮の一層の充実に努める。
- ◎本人・保護者との合意形成及び関係機関との連携の下、合理的配慮の継続的な提供及び定期的な見直しができるよう「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用し、園・学校が一貫した支援・指導を行う中で、一人一人が能力や特性を発揮し、主体的に活動できるよう指導内容や指導方法、評価を工夫改善する。
- ・ねらいを明確にした指導計画に基づき、交流及び共同学習を計画的・継続的に実施し、相互理解を深め、社会性や豊かな人間性を育むとともに、それぞれの園児・児童生徒が充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けることができるよう支援する。

多文化共生 外国人園児・児童生徒の適応指導の充実を図るとともに、広い視野をもち、異文化を理解し、これを尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく態度を育成する

- ◎外国人園児・児童生徒から他国の文化を理解する機会を創出する等、互いの文化を尊重することができるよう指導する。
- ・外国人園児・児童生徒がスムーズに日本の教育に適応できるよう、言語や文化について指導する。



「さかほぎいきいきプラン」指導系統表

乳幼児期家庭教育学級・保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校の一貫した指導

自 立 ・ 共 生

【豊 か さ】 豊かな人間性や社会性

【確 か さ】 課題解決に向け自ら考え、仲間と共に、新たな価値観や行動を生み出す力

【たくましさ】 自己実現に向けた粘り強くやり抜く力

		「自立」に向けて	「共生」に向けて	大人の関わり方
	中学校	- 自分らしさを自覚し、自己の目標に向けて、粘り強く努力できる。 - 自分の言動に責任をもち、自分の役割を最後までやり抜くことができる。 - 自分の思いや考えを、相手に伝わるように論理的に表現できる。	- 互いの願いや思いを大切にし、実現に向けて高め合うことができる。 - 集団生活の向上のために、それぞれの立場で力を出し合い、協力することができる。 - 豊かな表現力を身につけ、相手と円滑にコミュニケーションを図ることができる。	共感する 助言する 認め励ます 見届ける
小学校	高学年	- 自分の役割を自覚し、創意工夫しながら最後まで責任をもってやり抜くことができる。 - 相手との考えの違いを意識し、根拠を明らかにして話すことができる。	- 相手の話を理解しようと、自分の考えと比べながら聞くことができる。 - 相手との違いを受け止めながら協調して活動し、集団に対して貢献する喜びを味わうことができる。	共感する 助言する 認め励ます 見届ける
	中学年	- 自分の役割を自覚し、最後までやり抜くことができる。 - 仲間の考えや意見を自分と比べて考えることができる。 - 自分の考えを相手に分かってもらえるように話すことができる。	- 相手の話をうなずいたり反応したりしながら正しく最後まで聞くことができる。 - 仲間の考えや思いを関わらせて考えることができる。 - 仲間と関わりながら協力して活動することができる。	共感する 教える 認め励ます 見届ける
	低学年	- 自分のことは自分ですることができる。 - 宿題、与えられた課題等、やり抜く習慣を身につけることができる。 - 自分の気持ちを言葉ではっきり伝えることができる。	- 大きな声であいさつをしたり返事をしたりすることができる。 - 相手の話を最後まで聞くことができる。 - 意欲をもって活動に参加し、誰とでも分け隔てなく楽しく活動することができる。	教える 共感する 認め励ます 環境を整える 見届ける

		「自立」に向けて	「共生」に向けて	大人の関わり方
幼稚園・こども園・保育園・乳幼児期家庭教育学級	5歳	- 自分たちで生活の場を整えながら行動することができる。 - 人の話を聞き、相手に分かるように自分の思いを伝えることができる。	- 友達と共に活動する中で分担したり、協力したりすることができる。 - 人と関わることの楽しさや友達のよさに気づき、互いの存在を認め合うことができる。 - 活動したことを伝え合う楽しさを味わうことができる。	共感する 認め励ます 環境を整える 見届ける
	4歳	- 生活に必要なことが自分でできる。 - 聞いたり、感じたり、考えたりしたことを自分の言葉で表現することができる。	- 自分の思いを言葉や動きで表現して相手に伝えたり、相手の思いに耳を傾けたりすることができる。 - あそびの輪を広げ、集団で活動することを楽しむことができる。	共感する 認め励ます 環境を整える 見届ける
	3歳	- 衣服の着脱、食事、排せつなどを自分でやろうとすることができる。 - 自分の思ったことを言葉で伝えようとするすることができる。	- 教師や友達に親しみ、ふれあいながら遊ぶことを楽しむことができる。 - 生活に必要な言葉が分かるようになり、言葉を交わす心地よさを体験することができる。	支える 手伝う 認め励ます 環境を整える 見届ける
	2・1歳	- スプーンやフォークを使って、一人で食事をするすることができる。 - 便器で排泄することができる。 - 自分の思いを伝えようとするすることができる。	- 言葉のキャッチボールをすることができる。 - 人とのふれあいを楽しむことができる。	
	乳児期	(大人が) - 一日の生活リズムをつくる。 - 健康な生活環境づくり - 言葉かけとスキンシップ		
	妊娠期	(大人が) - 生まれてくる赤ちゃんが健康で心豊かに成長するイメージづくりと情報収集 - バランスのよい食事 - 心穏やかで健康的な生活		

令和6年度 坂祝幼稚園・坂祝小中学校 園・学校評価

坂祝町教育委員会

今年度の「坂祝町 園・学校教育指導の方針と重点」に対する教育評価です。（自己評価の集計）

〈評価基準〉 A：十分達成できたと考えられる。
B：おおむね達成できたと考えられる。
C：もう少し努力が必要と考えられる。
D：かなり努力が必要と考えられる。

【数値：％】

園・学校経営（管理職のみ回答）

1 全教職員が協力して活力ある幼稚園・学校経営をする について

管理職は、園・学校の教育方針や指導改善に向けた方針などについて家庭や地域に積極的に情報提供し、開かれた園・学校づくりを推進することができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	50	50	0	0
	小学校	0	50	50	0
	中学校	0	100	0	0

研修（幼小中学校職員が回答）

2 自己の課題を明確にし、主体的に研修を進め、確かな指導力を身に付ける について

授業および校務等にICTを効果的に活用したり、園児・児童生徒にICT活用や情報モラルについて効果的に指導したりする力を高める研修を行うことができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	54	46	0	0
	小学校	12	68	20	0
	中学校	0	36	50	14

幼稚園指導（幼稚園職員が回答）

3 発達の段階に即し、遊びを通した総合的な指導をする について

身近な環境に進んで関わり、心身の調和のとれた発達の基礎を培う活動が展開できるよう、幼児理解に基づき意図的・計画的に環境の構成を工夫することができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	54	46	0	0

教科指導（小中学校職員が回答）

4 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、学力向上を推進する について

習得・活用・探究という学びの過程の中で、「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解し、思いや考えを基に想像したりすることに向かう「深い学び」を実現することができましたか。		A	B	C	D
	小学校	12	80	8	0
	中学校	14	72	14	0

道徳指導（小中学校職員が回答）

5 自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる について

道徳的価値の理解を自分との関わりで考えるとともに、多様な感じ方や考え方に接して物事を多面的・多角的に考えるなど、主体的に自己の生き方についての考えを深める道徳科授業の充実を図ることができましたか。		A	B	C	D
	小学校	24	72	4	0
	中学校	7	65	28	0

小学校外国語教育（小学校職員が回答）

6 外国語を通じて、コミュニケーション能力の素地を養う について

校内研修の充実を図るとともに、担任とALTの連携したTTで授業の充実を図ることができましたか。		A	B	C	D
	小学校	16	80	4	0

総合的な学習の時間（小中学校職員が回答）

7 探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる について

各学校において定める目標及び内容を設定するとともに、各教科等との関連を一層明確にし、課題意識が連続発展するよう全体計画及び指導計画を工夫改善することができましたか。		A	B	C	D
	小学校	8	80	12	0
	中学校	7	86	7	0

特別活動（小中学校職員が回答）

8 所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる について

自分のよさや可能性を発揮して、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとすることができるよう、指導と評価を工夫改善することができましたか。		A	B	C	D
	小学校	20	80	0	0
	中学校	7	86	7	0

人権教育（幼小中学校職員が回答）

9 お互いを認め合い尊重し合いながら、共に生きる力を育てる指導 について

互いのよさや違いを認め合い、支え合う温かい人間関係の醸成を図ることができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	54	38	8	0
	小学校	24	72	4	0
	中学校	21	79	0	0

生徒指導（幼小中学校職員が回答）

10 共感的な理解に徹し、よりよい人間関係の形成を図り、自己指導能力を育てる について

自他を尊重し、互いの身になって考え、相手のよさを見付けようと努める集団、互いに協力し合い、主体的によりよい人間関係を形成していこうとする集団づくりを進めることができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	46	46	8	0
	小学校	24	72	4	0
	中学校	7	79	14	0

キャリア教育（小中学校職員が回答）

11 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる について

望ましい勤労観・職業観が育つよう、他の教育活動との関連を図り、ねらいを明確にした体験活動等を位置付けるとともに、事前や事後の指導の充実を図ることができましたか。		A	B	C	D
	小学校	24	64	12	0
	中学校	14	72	14	0

健康教育・防災教育（幼小中学校職員が回答）

12 進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる について

災害種別や状況等を工夫した実践的な「命を守る訓練」を確実に位置付けるとともに、防災教育を系統的・体系的に実施することができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	54	46	0	0
	小学校	60	40	0	0
	中学校	21	72	7	0

特別支援教育（幼小中学校職員が回答）

13 一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる について

本人・保護者との合意形成及び関係機関との連携の下、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用し、主体的に活動できるよう指導内容や指導方法、評価を工夫改善することができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	8	85	8	0
	小学校	24	76	0	0
	中学校	0	72	28	0

読書・読み聞かせ活動（読書のまち さかほぎ）（幼小中学校職員が回答）

14 言葉の教育を通して、心豊かな人間性と表現力の素地を培う について

言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をよりよく生きる力を身に付けていく上で、欠くことができない読書や読み聞かせの時間の充実を図ることができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	54	46	0	0
	小学校	28	64	8	0
	中学校	7	50	43	0

多文化共生（幼小中学校職員が回答）

15 外国人園児・児童生徒の適応指導の充実を図るとともに、広い視野をもち、異文化を理解し、これを尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく態度の育成 について

外国人園児・児童生徒から他国の文化を理解する機会を創出する等、互いの文化を尊重することができるよう指導することができましたか。		A	B	C	D
	幼稚園	23	70	7	0
	小学校	12	76	12	0
	中学校	7	36	53	0

ふるさと教育（小中学校職員が回答）

16 ふるさとをよく知り、ふるさとへの愛着を育む について

小・中学校一貫したふるさと教育の推進に向け、各教育段階に応じ、ふるさとの自然・歴史・文化・産業等を体験して学ぶ取組を実施することができましたか。		A	B	C	D
	小学校	32	56	12	0
	中学校	14	65	21	0

その他（幼小中学校職員が回答 任意）

自由記述欄（特に記述すべき事柄があれば、記入してください）

【幼稚園】 いつも幼稚園の教育活動にお力添えいただき、ありがとうございます。

【幼稚園】 まわりの職員と協力しながら、保育に携わっています。様々な家庭、個人の考え方がある中、今後も職員仲間に連絡や相談を怠らず、柔軟な考えを持って進歩ある保育をしていきたいです。

【幼稚園】 働きやすい職場環境になるよう、また、職員がお互い助け合って働けるようにと、上の立場の人が積極的に働きかけて下さっているのは大変よいと思います。

【幼稚園】 10月末に電子黒板を購入し、それを活用した活動が展開できました。また、活動の様子を保護者や教育関係者の方々に見ていただくことができました。次年度も多面に渡り活用できるように工夫していきたいと思います。

【小学校】 概ね子供達の積極性を引き出す指導ができていると思うが、楽な方に流れる、または自分ごととして受け止めていない部分も感じる。自分ごととして受け止め、自分づくり、集団づくりに臨めるよう、一層努めていきたい。

＜令和6年度 園・学校評価のまとめ＞

園・学校経営

- ・新学習指導要領がスタートから中学校は4年目、小学校は5年目であった。令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したのち、対面での対話的な学習や仲間と協働する活動の充実を推し進めることができた。GIGAスクール構想の実施で、1人1台端末も4年目となり、教職員・児童生徒はタブレットPCを多くの場面で活用することができた。調べ学習や、習熟のための問題に個々で取り組むなど、「個別最適な学び」に活用したり、児童生徒同士で考え方を共有するためのツールとして使用するなど、「協働的な学び」に活用したりすることができた。今後も更に、ICTを活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」のあり方を探っていくことができるとうい考える。令和5年度に全教室に大型の可動式電子黒板を設置して以来、一斉授業において、学びを深化させる一助として活用することができた。

研修

- ・新型コロナウイルス感染症から5年目。研修を受ける機会は増えてきた。研修に参加した職員が園・校内で情報を共有することができ、夏休みのQU研修や道德教育計画訪問では小中連携を図った合同研修を実施することができた。小学校では県指定の「教育データ利活用推進事業（NEW!GIFUウェブラーニング活用推進事業）」に学校組織で取り組み、情報主任を中心に研修等が行われ、その成果が子どもの姿となって表れ始めている。今後も継続することで指導力の向上を図っていければと考える。情報モラル教育については、児童生徒の発達段階を考慮した内容を、意図的に指導していく必要がある。

幼稚園指導

- ・幼稚園では「遊ぶ」ことから、様々なことを経験し学ぶことができた1年であった。遊びについて、環境構成を工夫しながら、遊びの中で主体的・対話的な関わりを生み出すことができた。タブレットPCを生かした「遊び」の紹介と共有化を園児全体で図ることができた。

教科指導

- ・可茂教育事務所の要請訪問が今年度は全て行われ、研究会を通して、教職員が学びを深めることができた。各学校では、授業者のみならず、学年や教科部で事前に授業を研究することを通して、関わる人すべての研修の場となり、教科指導力を高めることができた。児童生徒同士が多様な見方、考え方を働かせられるよう、学習形態を工夫しながら授業を展開していくことができた。児童生徒の思考力・判断力・表現力を育てていくための指導をさらに追求していく。

道德指導

- ・令和6年度は、坂祝小学校の道德教育計画訪問が実施され、坂祝中学校区の小中連携した道德教育を推し進めることができた。
- ・道德的価値の理解を自分との関わりで考えるとともに、多様な感じ方や考え方に接して自分の生き方を見つめる場をつくることにより、より道德科授業の充実を図ることを目指す。
- ・「いのちの教育」について、諸活動との関連性を考慮しながら、児童生徒の自己肯定感・自己有用感を高める活動を小中学校ともに展開することができた。

小学校外国語教育

- ・担任とALTが事前打ち合わせ等で連携を図り、効果的な指導ができたと感じている職員が多い。主体的に英語を通してコミュニケーションを図る姿がみられるようになってきた。ALTの勤務

時間の関係もあり、授業前後に担任と打ち合わせをするのが難しく課題もある。

- ・ALTが、とても熱心に授業をしており、子どもたちが力をつけていると感じる。

総合的な学習の時間

- ・小学校では達成したと感じている職員が多い、縦割りでのSDGsタイムが定着し、目標が共有化され明確にできたと伺える。中学校においては、2年生の職場体験等が、職場での体験も復活し、地域に出かけて行って学ぶ機会が増えた。中学校では、葬儀関係の会社（濃飛葬祭）から職業講話を聴く機会があり、好評を得ている。地域の社会福祉協議会が大変協力的で、車いす体験等の活動を中学校に出向いて出前講座をしていただいている。

特別活動

- ・中学校では、運動会の種目等に、生徒会の考えを入れるなど、この状況の中でも生徒の「自己決定の場」「自己存在感を与える場」を設けながら進められた。
- ・小学校ではありがとう集会で児童のアイデアを取り入れた発表や、全校合唱を取り入れる等、子ども主体の活動が増えてきている。また、県教委が主催する「チャレンジスポーツinぎふ」にも積極的に参加し、学級によっては8の字跳び（なわとび）で好成績を残している。この活動から学級の仲間との絆や結びつきが育まれ、より強固なものとなっている。

人権教育

- ・幼小中とも、人権を大切にしたい指導を重視してこられた。校報やホームページ等で、園・学校の取組を、家庭・地域に発信するなど連携を図ることができた。小中学校では、12月にひびきあい集会を実施し、児童生徒とともに人権を考える機会となった。

生徒指導

- ・幼小中とも、児童生徒理解に努め、本人、保護者との信頼関係を築くことに力を入れてきたことが分かる。年々、増加する発達に困り感のある園児、児童生徒、不登校、外国人児童生徒等、配慮の必要な園児児童生徒への個に応じた指導を根気強く継続して行っていることがわかる。昨年度と比べDはなく、A・Bのポイントが増えている。児童虐待等、学校と家庭、関係機関が連携しなければならぬ問題も増加しつつある。

キャリア教育

- ・中学校では高校見学会を実施し、保護者や中学生に近隣の高校の様子を知ってもらう機会を設けた。保護者に向けた学校見学会、説明会の方法を工夫することで好評を得ている。小学校では、キャリアパスポートも計画的進められており、見通しがもてている。全国学力・学習状況調査では、将来の夢や目標を抱いている児童生徒の数値が全国平均より低い結果があった。将来を見据えたキャリア教育の推進をさらに図ることは課題である。

健康教育

- ・定期的に「命を守る訓練」が実施されている。災害種別、時間帯等、場面設定を変えながらより実践的な訓練がなされている。今後も、全職員で、あらゆる場面を想定しての訓練を行い、その都度危機管理マニュアル等の見直し改善をしていく必要がある。
- ・食の面では、昨年度に引き続き、中学生が岐阜県中学生給食選手権に応募し最優秀賞を獲得した。地元の食材を生かした給食が提供されている。

特別支援教育

- ・支援を必要とする子に対して丁寧に対応するとともに、保護者とのコミュニケーションを大切に

してきた。また、職員の共通理解を深めた。

- ・町教委の担当と各園、学校が連携して情報交流や研修したことを、実践に活かすことができた。就学指導等についても、町教委と園・学校が連携しながら、保護者との合意形成を丁寧に行うことができた。特別支援教育の普及・定着は、学校教育が抱える課題解決に役立つと言われている。

読書・読み聞かせ活動

- ・小学校ではオレンジママの皆さんを招いて、読み聞かせ活動を充実させている。
- ・学年があがるほど、読書や読み聞かせの時間の充実が難しいと感じている。全校的な取り組みにしていけるとよい。そのために、職員が意識を高くもつことができればと考える。中学生について、読み聞かせといった部分はしていないため低い評価となったが、毎日朝活動で10分間行っている読書を更に充実させていきたい。

多文化共生

- ・小学校では昨年度と今年度、他国やその文化を知る機会として、国際交流協会を通して、外国の方を講師として招き交流することができた。坂祝町は外国籍園児児童生徒が多いが、身近にいる子の気持ちを考える機会にもなった。お互いの国や文化等について知る機会を設けたことが、お互いを思いやることにつながっていると考える。

ふるさと教育

- ・コミュニティスクールのふるさと絆委員会とも関わるが、坂祝町にお住まいの方を講師として招き、数多くの体験活動を行うことができた。小学校では、黒岩まつり囃子保存会、勝山ほたる保存会、坂祝歴史講話、火塚古墳見学、ねぎ生産農家見学、シーキューブさかほぎ農場見学、中学校では伝統文化を学ぶ会を開き、お茶会や着付け、生け花等、地元の方から教えていただく機会を設けた。中学校では、福祉活動として、各自治会を訪れ、地域の方と清掃活動やレクレーション活動を行うことができた。他教科や特別活動に関連付け学習を仕組むことで、ふるさと坂祝のよさを感じる学習のまとめを行うことができた。

4 コミュニティ・スクール

【令和6年度 第1回学校運営協議会】

5月1日（水）に中央公民館で令和6年度第1回学校運営協議会と、地域・園・学校協働本部が開かれました。学校運営協議会は、小中学校長から今年度の学校経営方針の説明があり、質疑応答の後承認されました。

《小学校の経営方針の概略》

「気力にあふれた たくましい 坂祝の子」の教育目標をもとに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つを通して具現化していく。

《中学校の経営方針の概略》

教育目標「深く考え、みがきあい、たくましく」を具現化するために、4月の出会いから誇りを持てるようにする3月までの一年間を、さらに中学校三年間を見通した指導を行っていく。行事等を生かして生徒や教職員に笑顔のある学校づくりをする。



《質疑・意見等》

- ・ 確かな学力とは？小学校の「坂祝科」とは？

小学校…ふるさとに関わる地域を知り、地域に生きることを大事にしたい。

中学校…IT化が進んでいるが、グーグルで調べたことを丸写しではなく、最後は倫理観や判断力をもって自分で決める力の育成を図りたい。



- ・ あいさつの声が元気かどうかであいさつの良し悪しは決まらない。「あいさつ」はおはよう以外に「ありがとう、ごめんなさい、こんにちは」などいろいろあることを念頭に指導をしてほしい。
- ・ 「坂祝が大好き」と言える子のために地域の行事に参加させている。小中学校で何を教えるか、学ばせるかが坂祝を好きになるきっかけとなるのではないかな。

- ・ 引きこもりが増加している。勉強より友達と明るく過ごすことの方が大事ではないか。⇒

中学校…自律して卒業させたい。SOSを出せる子、話ができる人がそばにいて一人で抱え込まない子の育成を図るが、SOSを見逃さない、見落とさない地域、学校、大人でありたい。

- ・ 全国学力状況調査の結果を踏まえて町としての傾向と対策はあるか。

中学校…基礎基本については平均よりよくできている。筋道立てて考えることに苦手傾向がある。読解力を高めていきたい。

- ・ あいさつ活動では幼稚園にも参加しているがハイタッチをしてくれる。小学校につながると思う。



- ・ 小中ともあいさつがよくなってきている。

【令和6年度 第1回地域・園・学校協働本部開催】

第1回目は自己紹介や昨年度までの取り組みの確認、今年度の活動の方向について話し合われました。

【ふるさと・絆委員会】

あいさつ活動は引き続き町内全体に広がるよう取り組み、その他子ども達の行事にも積極的に参加していきたいです。

【地域・スポーツ委員会】

各団体でできることを確認し、今年度は長期休暇時にキッズにレク等軽スポーツを実施することを決めました。

1【多文化共生委員会】

園や小中学校の外国人児童の人数や実態を聞いて、継続していくことや今後の支援法等について話し合いました。

【令和 6 年度 第 1 回幼稚園運営協議会】

5 月 24 日（金）に幼稚園にて令和 6 年度第 1 回幼稚園運営協議会が開かれました。第 1 回は、園長から園の経営方針の説明があり、小中学校の運営協議会同様、質疑応答があった後、園の経営方針が承認されました。



《園の経営方針の概略》

「やるき こんき げんき」を合言葉に 3 つの重点目標をたてて運営している。一つめは「遊び」を通した教育活動の充実、二つめは、「個の特性を理解した支援の充実」、三つめは「小学校教育とつなぐ取組の強化」を全職員で育成していく。

《質疑・意見等》

- ・うさぎ小屋の跡地の予定はあるか？ ⇒ 更地にして遊べるスペースを広げる予定。
- ・年長児は一クラスになったがスペースなど今の状況はどうか？ ⇒ 困り感はない。保護者の意見を聞いても子どもは困り感を感じず、みんなと一緒に喜んでいる。小学校に上がる前の時期もあって事前練習になるのでかえってよかったという保護者の意見がある。
- ・PTA 会長より…保護者に PTA 活動を見て、知ってもらって PTA 活動の参加率があがることを願っている。子どもたちのためになるので、一人でも多くの参加を望む。
- ・「やるき こんき げんき」の「こんき」はどういうところで判断しているのか？
チャレンジすることを大事にし、職員も根気よくつきあうようにしている。

11 月 14 日（木）に坂祝中学校で令和 6 年度第 2 回学校運営協議会と、地域・園・学校協働本部が開かれました。

【令和 6 年度 第 2 回学校運営協議会 会議内容】

小中学校長から今年度の学校経営方針の進捗状況の説明がありました。

《小学校より》

学力については、コミュニケーションを大事にして自分で進める力や納得してもらうことを進めている。正しく聞く力と表現力を養っていく。豊かな心の中の「あいさつ」については児童会を巻き込んでさらに進めていく。豊かな体では大きな事故は今のところ起こっていない。



《中学校より》

運動会では「つながり」をテーマに取り組んで仲間との関わりが増えた。伝統を学ぶ会や職場体験福祉活動など多くの地域の方々との関わりが持てている。学力状況調査の結果から、書くことに力点を置いて指導をしている。1 学期のアンケートと比較して友達関係など 10 月の結果はよくなっている。安心することなく地域の力を借りながら進めていく。

《質疑・意見等》

- ・不登校の現状はどうか。地域でも「がんばっているね。」などの声掛けをして見守りをしたい。

小学校…家庭や本人の事情による不登校と言える子は数人。家庭や機関との連携はとれている。
 中学校…1か月に1日以上欠席は9月11人、10月8人。担任や学年主任はもちろん、生徒を一人にしない教育体制づくりをとっている。

- ・小中学校とも、児童生徒が前面に出た運動会だった。
- ・セルフディフェンスをする際には、消防署にはよい資料があるので利用するとよい。
- ・保護者の願いとして学力は全国より上をめざして底上げを図ってほしい。幼児教育からやってほしい。
- ・制服を検討する時期になったが、現状や今後はどうなのか。選択するにも検討するものがない。今後の指針を示してほしい。⇒アンケートをとったところ、選択枝が増えてよいという意見があった。自分たちで変えたいという時期になった時点で考えればよい。
- ・運動場で元気に遊ぶ姿や自由な発想で作品作りをしていた。九九をやりながら帰る姿を見かける。

【令和6年度 第2回地域・園・学校協働本部 分科会の内容】

【ふるさと・絆委員会】

- ・11月27, 28, 29日の7:30(集合)～8:00に中学校の落ち葉はきを生徒とともに行うので、参加できる人はそのうちのどこかで協力をお願いしたい。
- ・あいさつ活動を継続していく。

【地域・スポーツ委員会】

- ・11月16日に多文化共生委員会と軽スポーツ体験で言語を超えた交流を行う。
- ・12月27日にキッズにて軽スポーツ体験会を企画する。

【多文化共生委員会】

- ・11月17日に地域スポーツ委員会との初コラボで言語を超えた交流を行う。
- ・外国籍児童生徒の保護者との連絡の取り合いの難しさや入試の大変さについて話題が上がった。

◆令和6年度第2回 坂祝幼稚園運営協議会開催

2月18日(火)に坂祝幼稚園で第2回幼稚園運営協議会が開かれました。会では、園長から今年度の1年間の活動の様子の説明がありました。

①園長より

- ・毎日の「にこにこあそび」を通して遊びに広がりや深まりがでてきた。
- ・あいさつ活動やボランティア「すまいるひろば」の参加があった。またアルミ缶回収など地域の活動に支えられた。
- ・保護者アンケートから保護者の理解が得られていた。

②意見交流(抜粋)

- ・こどもは友達と会える幼稚園を楽しみにして行っている。
- ・園の父親の参加が多くなるとよい。
- ・小中学校との異年齢交流で遊べるのはよいことである。
- ・バス通園がなくなることによって駐車場の飛び出しなどの配慮が大事になってくる。
- ・先生方の工夫がいろいろとみられた。地域に支えられている活動が坂祝らしい。
- ・小学校になるといきなり座学になるので今のうちにいろいろな体験をしておけることはよい。



会後の園児による発表

◆令和6年度第3回 学校運営協議会及び、地域・園・学校協働本部開催

2月28日（金）に坂祝小学校で第3回学校運営協議会と地域・園・学校協働本部が開かれました。会の前には、6年生による発表がありました。地域の方との交流を通して得た坂祝町に対する思いを表現した呼びかけと、すばらしい合唱の披露があり参観された方々からは感動の声が上がりました。

その後、小中学校の校長たちから今年度の学校経営方針のまとめの発表がありました。



会前の6年生による発表

①小学校長より（抜粋）

- ・ふるさと学習など体験的な学習や文化的な学習ができた。
- ・可茂地区図書館審査で最優秀賞を受賞した
- ・児童が主体となった人権集会ができた。
- ・小中連携で一緒に学習ができた。



②中学校長より（抜粋）

- ・学びあいを通して学力をつけている。「つなぐ」をテーマに異学年交流を行った。
- ・落ち葉はきやあいさつ活動など生徒の自主的な姿があった。
- ・勉強が原因で学校に行きたくないという生徒が1割いる。楽しい体験を通して充実感を味わえるようにしていきたい。学校に行きたくなる「楽校」をめざしていく。
- ・県の給食コンクールで最優秀賞を2年連続で受賞した。

③意見交流

- ・コロナ禍の時に学校に行きたいと言っていた。行きやすい状況を学校は作ってくれていた。
- ・中学校は発達段階において難しい成長時期である。学校に行きたくないという子どもたちが安心して集える場所が坂祝にはない。
- ・中学校の制服問題がすっきりせず困っている保護者が多くいる。ブレザーを薦めてくる業者があるがいかがなものか。
- ・幼稚園でのあいさつ活動ではハイタッチでふれあえて楽しみでもある。
- ・主任児童委員として家庭とつながることはするが、なかなか進んでいかない難しさがある。

④協働本部ではふるさと絆委員会、地域スポーツ委員会、多文化共生委員会の3つに分かれて今年度の成果と課題が話し合われました。

◆岐阜大学地域協働支援センター長 益川浩一教授からのご指導

会の最後に益川浩一先生からご指導を賜りました。（抜粋）

1. 会の前にすばらしい合唱という形で子どもたちの姿がみられてよかった。制服問題などで保護者の本音がでたのはよかった。
2. 学びの循環がよい形で進んでいる。地域で学んだことが生かされ、学校の学びとの相乗効果になるなど、学びの質が上がっている。
3. 子どもが自主的に活動をして地域を巻き込み一緒に活動ができているのでさらに進めていってほしい。

4. 地域のつながり、仲間の広がり、企業を巻き込んだボランティア活動がされている。

子どもが始めた活動に対して地域や、地域企業が子どもの育ちに関わってる。自治会の高齢者との活動も奉仕作業のみならず「一緒に楽しもう」ということでいい形に変容してきている。こうした活動を通して地域への広がりも出て、地域がよくなっていく効果がある。

地域とのつながりが強いと学力が上がる、寝たきり老人が少なくなる、犯罪率が低くなるというデータがある。

5. 坂祝町のCSは発展的に進んでいる、子どもの参加、よりよい循環、老人会の変化がよかった。自信をもって進めてほしい。

6. 中学校給食最優秀賞おめでとう。食を通して地域（生産者）を知り、つながるのはよいことである。

5 学校給食センター

1. 調理及び配送業務

- ・シダックス大新東ヒューマンサービス（株）に業務委託
（令和4年8月1日～9年7月31日）
- ・調理員12名（内配送員1名）（町内在住者6名）

2. 調理数及び提供日数

- ・幼稚園98食、小学校495食、中学校232食、給食センター16食 計841食
- ・年間201日

3. 食育活動

- ・我が家の朝ご飯献立（毎月1回実施）・・・小学生から募集
- ・図書献立（毎月1回実施）・・・学校図書館からお勧めを選択
- ・加茂地区おすすめ朝食（年間3回実施）・・・加茂郡・美濃加茂市の栄養士で作成
- ・お祝い給食（2/21：中3卒業、3/7：小6卒業）
- ・その他、行事食・季節献立
（郷土料理、行事食、リクエスト献立、歯の日の献立、ふるさと岐阜給食、選手権献立）
- ・毎月「給食だより」の発行
- ・給食時間の放送資料の提供
- ・給食週間（1/27～1/31）に県内産の食材や生産者の紹介の動画を作成、幼稚園・小学校・中学校で放送して紹介。

4. アレルギー除去食対応

- ・対象者19名（幼稚園：1名、小学校16名、中学校2名）
- ・アレルギー対応している食品：卵、乳、ナッツ類、たけのこ

5. その他

- ・地産地消推進事業補助金確保

V 社会教育

1 家庭教育

(1) 家庭教育学級の運営について

本年度、可茂地区家庭教育学級では、「単位家庭教育学級の充実」「市町村の家庭教育事業との連携・支援」「地域や企業と連携した家庭教育支援の推進」の3つを重点として取り組むこととなった。

昨今の保護者の働き方や子育て環境の現状を鑑み、より多くの保護者に家庭教育の学びの場を提供することと、また親子のつながりを深めることを目指し、在宅取組型の取組を中心にしながら、学校行事参加型や体験活動参加型などの型を組み合わせた家庭教育学級の講座運営を進めていくこととした。

在宅取組型については、特に県のすすめる「話そう！語ろう！我が家の約束」運動を工夫しながら進めることとした。下記の具体的内容例を示しながら、各単位家庭教育学級において学級リーダーさんを中心に、家族の心の通い合い・ふれあいの様子をイメージしていただき、取り組んでいただくこととした。

<在宅型取り組みの具体的内容例>

- ・絵本の読み聞かせ
- ・親子歯磨き
- ・ノーメディア
- ・おにぎりの日
- ・朝食クッキング
- ・親子防災
- ・親子でスキンシップ 等

実施期間は夏休み中や冬休み中が多く、家族全員で取り組んだほほえましい取組が多く見られました。親子の語らいを増やししながら、思いを共有する機会となりました。

(2) 乳幼児家庭教育学級

①活動のねらい（目的）

乳幼児期の発達段階を正しく理解し、心豊かで
たくましい子どもを育てるため、親のあり方を
学ぶとともに、学級生の交流と親睦を深める。

- 子育てについて学ぶ
- 親同士の親睦を深める
- 自分の子育てを振り返る
- 子どもの社会性を養う



【12月 0歳児学級 クリスマス会】

②各学級の年間学習計画と対象者

★0歳児学級 【令和5年4月2日～令和6年4月1日生まれの子とその親（保育者）】

回数	期日	内 容	講 師
1	4/11 (木)	・開講式 ・レクリエーション「アンブレラ」 ・お友達つくろう	こども課長 アンブレラスタッフ
2	5/16 (木)	・子育てワンポイント 「ベビーサイン」 ・交流会	日本ベビーサイン協会 井藤 ゆか先生
3	6/20 (木)	・子育てワンポイント 「乳幼児期からのよみきかせ」 ・図書室へようこそ ・七夕かざりをつくろう	小学校司書 宇野 由香先生 公民館司書 佐藤 佳世先生
4	7/18 (木)	・子育てワンポイント 「ことばのコミュニケーション」 ・交流会	つくんこ教室 石原 真奈美先生
5	9/8 (日)	ファミリー学級 ・調理実習 ・親子ふれあい遊び	町管理栄養士 篠田 望先生 アンブレラスタッフ
6	10/24 (木)	・坂祝中学3年生との合同学級 「いのちふれあい学級」	坂祝中学校3年生 助産師 澤田 未緒先生 町保健師 河邊 紗穂里先生
7	11/14 (木)	・子育てワンポイント 「歯みがき指導」 ・交流会	歯科衛生士
8	12/18 (水)	・クリスマス会 よみきかせサークル「ぐりとぐら」とあそぼう	よみきかせサークル 「ぐりとぐら」
9	1/16 (木)	・子育てワンポイント「手形・足形アート」 ・交流会	手形アート講師 土岐 ひとみ先生
10	2/20 (木)	・閉講式と反省会 ・1歳児学級に向けて ・茶話会	こども課長 アンブレラスタッフ

★1歳児学級 【令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれの子とその親（保育者）】

回数	期日	内 容	講 師
1	4/17 (水)	・開講式 ・組織づくり ・レクリエーション「アンブレラ」	こども課長 アンブレラスタッフ
2	5/19 (日)	・1・2歳児合同ファミリー学級 「運動会あそび」	アンブレラスタッフ
3	6/26 (水)	・子育てワンポイント 「乳幼児期の食育」 ・七夕かざりをつくろう	町管理栄養士 篠田 望先生
4	7/10 (水)	・子育て講話 「防犯教室」 ・交流会	坂祝駐在所員
5	9/11 (水)	・子育てワンポイント 「子育てQ&A」イヤイヤ期・トイトレ ・手形づくり	町保健師 河邊 紗穂里先生
6	10/24 (木)	・坂祝中学3年生との合同学級 「いのちふれあい学級」	坂祝中学校3年生 助産師 澤田 未緒先生 町保健師 河邊 紗穂里先生
7	11/13 (水)	・秋みつけ 富加 半布ヶ丘公園で遊ぼう	担当グループ
8	12/19 (木)	・クリスマス会	こども課 学級生全員
9	1/15 (水)	・子育てサロン 「親子リトミック」 ・節分を楽しもう	音楽療法士 西尾 諭子先生 久保 いづみ先生
10	2/12 (水)	・閉講式と反省会 ・2歳児学級に向けて ・公民館まつりの掲示物づくり ・茶話会	こども課長 アンブレラスタッフ



【7月 1歳児学級 防犯教室】



【11月 1歳児学級 秋みつけ】

★2歳児学級 【令和3年4月2日～令和4年4月1日生まれの子とその親（保育者）】

回数	期日	内 容	講 師
1	4/19 (金)	・開講式 ・組織づくり ・レクリエーション「アンブレラ」	こども課長 アンブレラスタッフ
2	5/19 (日)	・1・2歳児合同ファミリー学級 「運動会あそび」	アンブレラスタッフ
3	6/28 (金)	・子育てサロン 「外遊びを楽しもう」 ・七夕かざりをつくろう	アンブレラスタッフ
4	7/12 (金)	・子育て講話 「我が家の子育て」 ・手形づくり	社会教育指導員 渡邊 玉枝先生
5	9/6 (金)	・坂祝幼稚園へいこう	坂祝幼稚園長
6	9/20 (金)	・坂祝保育園へいこう	坂祝保育園長
7	10/7 (月)	・遊々こども園へいこう	遊々こども園長
8	10/24 (木)	・坂祝中学3年生との合同学級 「いのちふれあい学級」	坂祝中学校3年生 助産師 澤田 未緒先生 町保健師 河邊 紗穂里先生
9	11/8 (金)	・楽しく親子クッキング 「おやつ作り」	町管理栄養士 篠田 望先生
10	12/17 (火)	・クリスマス会	こども課 学級生全員
11	1/24 (金)	・子育てサロン 「絵画診断」絵から見る子どもの心 ・節分を楽しもう	絵画講師 今井 節子先生
12	2/21 (金)	・閉講式と反省会 ・「お楽しみ会」 ・学級支援ボランティアについて ・公民館まつりの掲示物づくり	こども課長 アンブレラスタッフ



【4月 2歳児学級 開講式】



【11月 2歳児学級 親子クッキング】



【12月 2歳児学級 クリスマス会】

★ぺぺ学級（00歳児） 【令和6年4月2日以降生まれの子とその親（保育者）】

回数	期日	内 容	講 師
1	9/19 (木)	・開講式 ・レクリエーション ・自己紹介「はじめまして」	こども課長 アンブレラスタッフ
2	11/28 (木)	・離乳食講話 ・クリスマス製作 「クリスマスカードをパパに贈ろう」	アンブレラスタッフ 町管理栄養士 篠田 望先生
3	2/6 (木)	・子育てサロン 「ベビーヨガ」 ※雪のため、中止。	ジャハ協会ヨガ講師 日比野 莉沙先生
4	3/6 (木)	・子育てサロン「ベビーヨガ」 ※振り替えて実施 ・0歳児学級に向けて（開講式） ・茶話会	ジャハ協会ヨガ講師 日比野 莉沙先生 アンブレラスタッフ



【9月 ペペ学級 開講式】



【11月 ペペ学級 クリスマス製作】

③成果と課題

- ・近年、復職など理由は様々だが学級へ入級される方が減少している。今年度は今後の学級生の増加と入級している学級生の充実した学びの場になる事を目指し学級運営を進めてきた。その一つに、通常の学級とは別にぺぺ学級から2歳児学級まですべての学級生を対象とし、希望された方のみ参加する(オルオル学級)学級を2回開催した。12月にはクリスマス製作を、3月には母親の交流をメインとした茶話会を開催した。少子化や復職など、地域で子育てをする機会が減少する中、少しでもこの乳幼児期に同じ子育て世代として繋がりを持てる場を増やしていけるよう今後も進めていきたい。今回は15名程度の参加であったが良い時間を過ごしていただけたと感じる。
- ・10月に開催した坂祝中学3年生と合同の『いのちふれあい学級』では例年0歳児学級生を対象として開催していた。学級生の人数減少、長時間の開催など課題もあり、今年度は0歳児から2歳児までの学級生を対象とした。人数が増えたことで生徒と乳幼児との触れ合いの時間を充実させることができ、乳幼児期の成長の過程を感じてもらえた。また学級生との交流を通し、子育ての大変さや自分の親への感謝の気持ちを口にする生徒もあった。学級生自身も今後の我が子の成長と重ねながら話をするよい機会になっていた。
- ・今後も学級生の減少は予想されるので、オルオル学級のように縦割りで実施する学級を増やしていき地域みんなで子育てしていけるようなカタチを作っていきたい。
- ・学習計画についても乳幼児期の学びとして大切な事と、学級生のニーズを上手く取り入れながら計画していきたい。

令和6年度 坂祝保育園 家庭教育学級実施結果

月	日	行 事	場 所	人 数 予 定	講 師
4	5	入園式 親子交通教室 生活指導 交通安全	坂保		
5	8	はなまつり	宝積寺		大橋 正宏
	17	保育参観、	坂保		大橋 加奈子
6	20 14	防災 避難訓練 歯科検診	坂保 坂保		可茂消防 加茂野歯科
7	1 12 18	プール開き なつまつり つれさり、交通安全	坂保 坂保 坂保		丹羽神主 町駐在所
8	29	おみせやさん	坂保		
9	13 27	敬老会 運動会	坂保 坂保		
10	25	いもほり	坂保東畑 坂保		還暦野球
11	14 29	七五三 食育	坂保 坂保		丹羽神主
12	23	お楽しみ会	坂保		人形劇
1	17	防災、避難訓練	坂保		可茂消防署
2	3 28	せつぶん ひなまつり 生活保発表	坂保 坂保		
3	7 27	連れ去り防止 卒園式、表彰	坂保 坂保		

家庭教育学級 結果

感染症には十分に注意し、園、家庭においては手洗い食事等、気を付けてもらう様に行事や登降園の時に親さんに周知してもらう。月々の連絡には園の様子を書き園での困りごと等を知らせる。

各行事には家族の方々みんなに参加してもらえるようになった。

日頃子どもを見てもらっている祖父母の方々にも参加してもらえるようになって子どもの発達、友達関係をしっかり見てもらえるようになった。保育士も行事に向けて活気がわいてきた。家庭においても外出が多くなりいろいろな体験をし、クラスでお話ができるようになった。

反省

保育参観 クラスごとに、親子参観で楽しんだ。

夏祭り 全員参加で楽しくできた。

運動会 全員参加で日頃の体育教室の成果を参観。

ひな祭り 発表会 コロナ禍が明け保護者の方々に沢山参観してもらい

元気一杯表現でき、自信になった。

夏祭り



保育参観



マット運動 跳び箱



運動会



食育

コマ回し



ひなまつりかい



令和6年度 遊々こども園 主な家庭教育学級実績報告

月	日	学習テーマ	ねらいと内容	講師等	人数
4	22	緑育教室 花苗植え	◎自然物を観察し植物の成長を知る。職員と土を整え、幼児が植え観察する。	こども園園庭にて、用務員さんと共にクレマチス・朝顔などを植えて育てた。	50
5	23	保育参観(分散型)	◎園での生活・学習風景を公開し、保護者・地域の理解を深める。	保護者 5歳児・2歳児	50
5	24	観劇会 とんからり	◎子ども読書の日の活動として、物語を劇を通して楽しんだ。	劇団風の子 園ホール	90
6	25・26	保育参観(分散型)	◎園での生活・学習風景を公開し、保護者・地域の理解を深める。	保護者 0歳児～4歳児	100
7	5	園内七夕会	◎季節行事の内容を理解しながら楽しむ。	園内分散型	130
7	6	地域に開かれた音楽会	◎フルート・ギター・ピアノの演奏を親子で鑑賞する。	中央公民館ホール	200
8	6・7	夏まつり	◎お店屋さんごっこを異年齢で交流して行う。	園内保育室分散型	85
8	20	防火教室	◎可茂消防のお話と煙ハウス体験	5歳児・4歳児・3歳児	85
9	5・6	ファミリー参観	◎園での生活・学習風景を公開し、保護者・地域の理解を深める。	5歳児・43歳児保護者 民生児童委員	100
10	17	防犯教室 地域見守り隊	◎地域の方より防犯、交通安全について学ぶ。	坂祝町教育委員会 見守り隊・坂祝交番	85
10	9・25	ファミリー参観 キッズヨガ	◎園での生活・学習風景を公開し、保護者・地域の理解を深める。	2歳児・01歳児保護者 ヨガ講師2名	100
10	31	秋まつり	◎園での生活・学習風景を公開し、保護者・地域の理解を深める。	園内分散型	130
10	22・23	防災地震体験	◎9月より前保護者対象に10名1グループにて、各務原市防災センターに体験学習に行く。	保護者各10名1組で参加	90
12	25	冬まつり 園内クリスマス会	◎園での生活発表と楽しい行事を皆で共有する	園内分散型	130
1	15	園内新年お楽しみ会	◎伝統行事、伝承あそびを園内で楽しむ ・こま・カルタ・的当て等、昔あそび	園内分散型	130
2	3	豆まき会	◎季節の行事を楽しむ。(園内) ・節分の由来を知り、豆まき(見立て)をする。	園内分散型	130
3	3	はるまつり	◎季節の行事を楽しむ(園内) ・雛祭りの由来を知る。	園内分散型	130
3	22	地域に開かれた音楽会	◎こどもたちの成長を共に祝い、心あたたまる音楽を保護者と共に楽しみ、地域にも開放する。(トリオ:VL/TB/PF)	音楽講師3名 (福祉協力校)	250

【今年度家庭教育学級で重点としたこと】

- ・ 子育てのつながりを感じる機会を作る。
- ・ バランスよく家庭教育学級を運営する。

【今年度好評だった学級の内容について】

- ・ 年に2回地域に開かれた音楽会(坂祝町中央公民館)は、園関係者以外に地域の方々、グループホームの方々との世代間交流に繋がり、音楽を共に聴くことができた。
- ・ 子ども読書の日活動として観劇会を園ホールで3歳児以上と、数名の保護者で鑑賞した。昔話を真剣に聞く姿が印象的であり、読書活動のかたちを変えて学ぶことができた。
(1回目 5月 劇団風の子 2回目 12月 いちご座)
- ・ 保護者が見学することで、保育内容の理解や子どもの様子を知ることができる参観は年に数回クラスごとに分散し開催した。1月よりさらにフリー参観スタイルに変更し、週に1回をめやすに開放保育とし今まで都合で来れなかった方も見学することができた。今後も継続し、開放された風通しの良いこども園としたい。
- ・ 当初の計画ではないが、職員研修として保育教諭が地震体験をしたことをきっかけに、保護者グループ参加を計画し、防災センター訪問事業を家庭教育学級で行った。災害時に子どもをどのように守るかを園側と保護者側で考える機会となりました。



令和6年度 家庭教育学級テーマ 「親子みんなで思い出づくり」

月	日	学年	内 容
5	16 (木)	年少	「にこにこ遊び参加」 ◎体験活動参加型 ・普段子どもたちが遊んでいる遊びと一緒に体験する 「給食試食会」 ・保護者による給食試食 
	24 (金)	年中 年長	「にこにこ遊び参加」 ◎体験活動参加型 ・普段子どもたちが遊んでいる遊びと一緒に体験する 「親子でさつまいもの苗さし」 ・苗さしを体験し、収穫への期待につなげる 
9	4 (水)	全	「よみきかせ講座」 ◎在宅取組型・体験活動参加型 ・夏季休業期間中に、親子でハガキ「絵本郵便」を作製する ・ハガキを活用し、おすすめの絵本を紹介し合う 
11	22 (金)	全	「親子運動あそび」 ◎体験活動参加型 ・講師（株）リーベによる指導 「親子で作ろう日めくりカレンダー」 ・干支のカレンダー製作  
12	25 (水)	全	観劇会「人形劇：サボテンのチョビくん」エプロン座 ・園児と保護者、未就園児親子を対象に人形劇を鑑賞 
3	3 (月)	年長	「親子で先生へのメッセージカード作り」 ◎在宅取組型 ・一年を振り返り、文字に興味をもたせながら担任へのお礼の気持ちを育む機会とする。 

【成果】

- ・PTA役員が中心となって学年ごとの内容を企画し、園と協力して実施することができた。
- ・親子活動では、園が大切にしている『にこにこ遊び』の時間を親子で体験してもらうことで、保護者の方にも子どもたちの普段の活動（遊び）の大切さを実感していただくことができた。
- ・さつまいもの「苗さし」では、地域の方にご協力をいただき、親子で「苗さし」と「芋ほり」を体験することができた。園と地域がつながる活動となった。
- ・恒例となった「よみきかせ講座」では、親子同士が交流できる良い機会となった。
- ・園行事と兼ねて実施することで、保護者の参加率はよかった。

【課題】

- ・保護者の交流の場としての位置づけをより周知していくことで、子育て支援の充実につなげたい。

ハグする時間♡家族でラフラフデー（在宅取組型）

実施期間：6月17日（月）～6月23日（日）まで

取組方法：カードに日付、だれとハグしたかを記入。好きな色を塗る。感想を書く。



今年度の1回目の家庭教育学級の企画は「ハグ」企画でした。以前に行ったことがある企画だそうで、今回もご好評をいただきました。「ハグ」することで、心が落ち着き、あたたかな気持ちになります。素敵な親子関係を築く一助になったことと思います。

♡「ハグ」企画の感想（一部）を紹介します。

【子どもの感想】より

- あさ、おかあさんとハグをすると あんしんしてがっこうにいくことができます。（1年女子）
- ママがいつもギュッしてくれて、ほくもがっこうでがんばるきもちでいけます。（1年男子）
- みんなやともだちとハグできてうれしかったです。（2年女子）
- いつもハグして心があたたまりました。（3年男子）
- お母さん、お父さんといっしょに毎日ハグするときに、私はすごくえがおになりました。すごくうれしかったです。（3年女子）
- 最近、お父さんとハグしてなかったので、ハグをしてうれしかったです。（5年男子）
- 昔、寝る前にハイタッチをしていたので、とても懐かしい気持ちになりました。（6年女子）

【お家の方から一言】より

- ハグするとお互いに幸せな気持ちになり、娘をより愛おしく思いました。
- ぎゅーっとして、とっても大好きな気持ちを伝えられたことがよかったです。
- 子どもから「ギュッ」と言われると忙しくてイライラしていても気持ちが切り替わって、優しい気持ちになりました。1日1回はハグしたいです。
- 抱きしめることで、こんなに大きくなったんだなあと改めて感じることができました。
- ママはうれしかったよ。こういった取り組みを通して、いつもしない人と交流できればと思いました。恥ずかしい気持ちもあるかもしれませんが、すごく素敵な取り組みだと思います。
- 小さい幼児期よりもふれあう機会が減ってしまっていたのですがうれしそうに甘える姿を見て、これからはスキンシップを大切にしたいと思います♡

給食センター見学・給食試食会（参集型/体験型）

実施期間：11月1日（金）

内容：給食センター見学・栄養教諭による講話・給食試食・配膳の様子の見学



11月1日、家庭教育委員会では「給食センター見学・給食試食会」を開催しました。35名の保護者の皆さんが参加されました。給食センターの見学では、本日の給食メニューが調理される実際の様子を見せていただきセンター長の金森さんから日頃の調理に関して気を付けられていること、昨今の食料高騰の観点から費用面に変えて頂いていること等、日頃利用者には感じられにくい給食提供までの取組について教えて頂きました。その後栄養士の遠藤さんに子供の成長期に取りたい栄養素について講話をしていただきました。朝ごはんの重要性についてとても学びになりました。試食会で人気メニューをおいしくいただいた後は、子供たちの給食配膳の様子を参観しました。

【参加者の感想】（一部抜粋）



給食センターで普段どのように給食が作られているのか実際に見ることができてうれしかったです。朝食についての話もとても勉強になり今後栄養についてより意識してご飯を作ろうと思いました。試食会で子供たちと同じメニューを食べることもできて良かったです。どれもすごくおいしくて子供たちがいつも給食を楽しみにしている理由がわかりました。

家庭教育学級報告（まとめ）

〔 PTA 本部役員会 〕

学習目標 『子育ての環境を取り巻く様々な問題を共に考え、情報交換等を行うことにより、
家庭のもつ教育力の向上を図る。』

回	月	日	時 間	内 容	場 所
1	4	10	18:30~19:30	家庭教育学級計画会	坂祝中学校 校長室
2	4	19	13:20~15:30	授業参観・PTA 総会・学年懇談会	坂祝中学校 各教室
3	6	19	13:20~15:30	授業参観・進路説明会	坂祝中学校 各教室
4	7	10・17	半日	高校見学会（保護者対象）	対象高等学校
5	9	26	終日	体育大会 参観	坂祝中学校 運動場
6	10	10・24	10:30~11:20	いのちふれあい学級	坂祝中学校 体育館
7	11	9	午前	授業参観・芸術鑑賞会・学級懇談会	坂祝中学校
8	11	20	10:30~11:20	DV 予防講座（性教育）	坂祝中学校 各教室
9	11	25	13:20~14:10	性のおはなし（性教育）	坂祝中学校 各教室
10	12	4	9:30~10:20	異性との関わり方（性教育）	坂祝中学校 各教室
11	12	13	午後	合唱祭	坂祝中学校 体育館
12	2	26	14:20~15:10	伝統を引き継ぐ会	坂祝中学校 体育館

《高校見学会について》

実施日 7月10日 東濃実業高等学校・可児工業高等学校・美濃加茂高等学校・加茂高等学校
関高等学校

7月17日 加茂農林高等学校・関商工高等学校

内 容 ・高等学校職員からの学校説明
・施設、授業風景見学
・質疑応答
・美濃加茂高等学校ランチルームでの昼食試食（10日）
・加茂農林高等学校売店で買い物（24日）

参加者 各高校 10名~20名

- ・高校生や本校の卒業生から話を聞く場面があり、より身近に感じられることができた。
- ・食堂で食事したり、売店で買い物したりできたことで、高校生の生活をイメージしやすかった。
- ・希望の高校を少人数でじっくり見学できたことは、保護者に好評だった。



2 青少年育成

(1) 青少年育成活動の推進

坂祝町では、青少年育成運動の主旨徹底と、地域における実践活動を推進することを目的として、岐阜県青少年育成推進指導員1名、青少年育成推進員8名で青少年の健全育成活動を行っている。

活動としては、青少年育成町民会議及び、関係団体並びに地域住民と密接な連携を保って青少年育成運動の普及徹底を図るとともに、地域の実態に即した実践活動が展開されるよう指導助言し、担当地域における推進活動の中心的役割を果たしている。

(2) 青少年育成推進指導員・推進員合同会議

○定例会の開催

第1木曜日を基本に定例会を8回行い、地域の様子についての情報交流や活動の計画等を検討した。

○啓発活動

青少年の健全育成及び非行等問題行動への対応について、町民の関心を高め、その理解と協力が得られるよう啓発活動を計画し、町民まつりで実施した。また、小学校と中学校の夏休み期間に合わせ、8月に夜間巡回を実施した。

○坂祝町青少年育成町民会議の部会活動の支援

年間を通じて、町民会議の各部会に所属し、部会活動の活性化をめざしたサポートを行った。

○青少年育成に関わる事業への参加

『青少年育成町民の集い【6月8日（土）】

『ふれあい交流会』【9月22日（日）】

(3) 青少年育成町民会議

①活動の方針と重点

【方 針】

「21世紀を心豊かに、たくましく生きぬく青少年の育成」のために、地域全体で連帯・連携し、ふれあいを大切にした青少年の健全育成を行う。

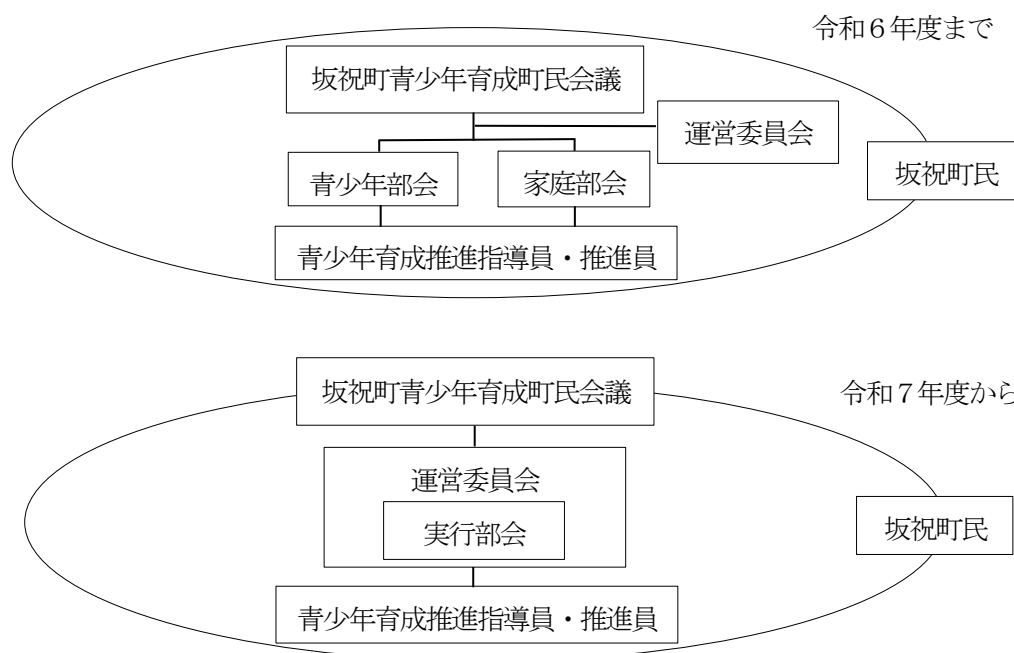
【重 点】

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| ○青少年の地域活動への積極的な参加の推進 | ○地域に根ざした多様な体験活動の充実 |
| ○関係機関相互の共通理解と連携の強化 | ○地域の環境浄化・非行防止活動の推進 |
| ○青少年健全育成及び、青少年の人権の尊重に関する学習機会の提供 | |

②令和6年度テーマ

『豊かな人間性を備え、たくましく生きぬく青少年の育成』
～育てよう心とからだ 広げよう優しさあふれる地域の瞳～

③組織図



④目的と経緯

【青少年育成町民会議の目的】

青少年問題の重要性に鑑み、広く町民の総意を結集し、国・県及び町の施策と呼応して青少年の健全な育成を図る。

【青少年国・県・町民会議の設置】

- 青少年育成国民会議 昭和41年 5月27日
- 青少年育成県民会議 昭和42年 3月 5日
- 青少年育成町民会議 昭和42年11月 8日

⑤坂祝町青少年育成町民会議の活動の歴史

青少年育成町民会議の活動は、昭和53年度から「町民の集い」という行事で、それぞれのテーマで話し合う分科会形式、同じテーマでいくつかのグループに分かれて話し合う分散会形式、青少年の主張、講演などを行ってきた。その他にも青少年推進員、民生委員児童委員合同による夏季夜間巡回パトロールを行い、青少年の実態の把握、指導等を行ってきた。そして、さらに広く町民に青少年の健全育成を浸透させていくために、平成11年から将来を担う青少年の育成に向け、広く町民の総意を結集し、あらゆる角度から青少年の健全育成を推進していくために、青少年、家庭、地域の3部会体制で活動してきた。

平成30年度からは、活動が恒常化してきたことや、部会からも新しい活動や継続していく活動を見直ししていく必要があるとして、協議の結果、地域部会で行っていたあいさつ活動を町民会議全体での活動に位置づけることとし、併せて、地域部会を廃止し家庭部会と青少年部会の2部会制とし、運営委員会がそれまでの地域部会の活動を担う形で規約を改正した。

さらに、令和6年度においては、コロナ禍を経て町民会議の運営体制を見直し、児童保護者役員の夜間会議負担の軽減を図ることや、青少年部会・家庭部会の隔たり無く青少年育成町民会議が一体となって事業推進すること等を目的として、両部会を一つに統合し新たに「実行部会」を編成するために規約改正を行った。

令和6年度「坂祝町青少年育成町民会議」活動について

【全体事業】

◇青少年育成町民の集い

6月8日（土）坂祝町中央公民館1階ホールにて、「青少年育成町民の集い～元気なさかほぎ発表会～」を開催した。ジュニアリーダーズクラブの2人が司会を務めた。青少年の主張発表では、中学3年生の2名が「場の雰囲気をくみ取り、自分の個性を大切にすること」や「言葉は使い方によって人を様々な気持ちにすることができること」ことをテーマとした中学生らしい観点による作文を力強く発表した。

会の最後には、NPO法人陽和 理事長 渋谷幸靖様による特別講演会を行い、「青少年に必要な関わりとは」をテーマに不登校や非行など様々な課題を抱える青少年と普段どのように接しているのか、支援が必要な青少年はどのような状況に置かれているのか、加害行為を行う青少年が実は本人も被害者の1人でもあり、支援を必要としていることなど、実体験から得られる経験を基とした講話を披露され、「青少年と関わっていくなかで大切なこと」を学ぶ機会となった。



特別講演会（講師：渋谷 幸靖様）



主張発表の様子（左から：松久 心優さん、田中 栄真さん）



◇あいさつ活動

青少年育成町民会議では、コミュニケーションに欠かせない「あいさつ」を通して、人と人とのつながり、地域のつながりを大切にする気持ちを育むことを目的に、毎月1回「あいさつ活動」を行っている。令和3年度からは毎月1日を活動日とし、町内の通学路4箇所子どもたちの登校時間に合わせて実施し、地域づくり活動グループも参加することで「地域力」を高めている。また、活動の充実のために「あいさつ活動5daysチャレンジ」（入学式から5日間）を実施している。

◇ふれあい交流会への協力

9月22日（日）坂祝町スポーツドームにおいて、坂祝町子ども会育成協議会が主催するふれあい交流会（チャレンジランキング）に、青少年育成推進員及び青少年育成町民会議もスタッフとして参加した。今年度は4つの単位こども会が各1種目を、青少年育成推進員及び青少年育成町民会議が3種目を担当する方法で実施した。8月には推進員とこども会育成協議会で合同会議を開催し、競技内容や進め方などを共有した。また、当日は中学生ボランティア（ジュニアリーダーズクラブ）も協力し、全世代で地域一体となり行事を開催することができた。



ふれあい交流会の様子



あいさつ活動の様子

【青少年部会】

《活動方針》

「物作り」を通して親子で物に触れ、共に楽しむことで物の大切さを教えることを大事にしていく

《活動内容》

○親子での工場見学（五十鈴東海株式会社岐阜サービスセンター）【7月15日（月）】

○親子で『瓦』ものづくり体験【8月6日（火）】

今年度も、五十鈴東海株式会社岐阜サービスセンターでの工場見学を企画し開催した。8組18名の親子が参加し、身近な家電の部品となる鉄の素材が加工される様子を見学した。

他にも、ものづくり教室として親子で『瓦』ものづくり体験を開催し、3組10名の親子が参加した。兼松製瓦工業にご指導いただき、表札やオブジェ、鬼瓦や皿など子どもたちが自分で作りたいものを作成することができた。



五十鈴東海株式会社への工場見学



親子で『瓦』ものづくり体験の様子

【家庭部会】

《活動方針》

元気でぬくもりある明るい家庭づくりを推進し、より良い家庭のあり方を求めていく

《活動内容》

○親子でトマト農場収穫体験・見学【令和7年1月7日（火）】

シーキューブさかほぎ農場にて、トマト農場収穫体験・見学を開催し、6組13名の親子が参加した。農場の概要説明から始まり、選別機械の見学や収穫体験、誰が一番甘いトマトを収穫できるか競い合う糖度選手権などの企画も用意されており、親子の絆を深める体験の場となった。



親子でトマト収穫体験・見学の様子



シーキューブ農場のミニトマト

3 子ども会育成協議会

子ども会は、地域における少年期の大切な学びの場であり、人づくりの場でもある。家庭や学校と連携・協力しながら、異年齢集団の中で様々な経験や体験を通して心身を鍛練し、自立・共同・友愛などの精神や、豊かな情操と社会性を養うものである。

子ども会育成協議会は、情報交換することによって、各子ども会が年間を通じて円滑な運営を行っている。各子ども会の代表者が役員となり、顧問として前年度役員（1名）、県指導員が参加し運営が進められた。

ジュニアリーダーズクラブ（JLC）は、子ども会活動のサポートや、年長会員のリーダー育成、レクリエーション指導を行い、各種の研修会に参加するなど資質の向上を図っている。令和2年度から指導顧問を置き、ジュニアリーダーの育成に力を入れている。

令和6年度 単位子ども会 4団体（黒岩、雲埋、加茂山、大針）

<子ども会育成協議会の活動内容>

- (1) 町内一斉清掃（各自治会で）・・・4／28（日）、11／3（日）
- (2) インリーダー研修会、育成者研修会・・・5／25（土）
- (3) ラジオ体操・・・夏休み期間中（各地域で）
- (4) ふれあい交流会・・・9／22（日）

<ジュニアリーダーズクラブ（JLC）の活動内容>

- (1) インリーダー研修会・・・5／25（土）
- (2) キッズドリームワールドボランティア・・・8／19（月）
- (3) ふれあい交流会・・・9／22（日）
- (4) 町民まつり・・・11／17（日）
- (5) 公民館まつり・・・3／8（土）、3／9（日）



ふれあい交流会の様子



掲示物

4 二十歳を祝う会（旧：成人式）

（１）趣 旨

町内の二十歳に達した青年の新たな門出を祝福し、激励すると共に将来を祈念することを目的としている。実行委員会が二十歳を祝う会の企画運営をすることによって、自主的な式典開催を促している。

（２）対象者

年度に二十歳をむかえる者（平成１６年４月２日～平成１７年４月１日までの出生者）で、坂祝町に住民登録を有する者。または、坂祝町に住民登録を有していないが、参加を希望する者。

（３）実施日 １月１２日（日）午前９時３０分～

（４）内 容

二十歳対象者・来賓 式典	受付	１階ロビー １階ホール
-----------------	----	----------------

◇◇◇ 式 次 第 ◇◇◇

<第１部>

- １．開式
- ２．国歌斉唱
- ３．町長式辞
- ４．来賓祝辞
- ５．記念品贈呈
- ６．誓いのことば

<第２部>

- １．恩師からのメッセージ
- ２．思い出のスライドショー
- ３．閉式

*記念撮影 １階ホール

*郷土記念飛行１フライト（約１０分）８人乗り １機

*郷土記念飛行終了後、解散



式典第一部の様子



式典第二部 実行委員挨拶

（５）出席者

○対象者 ９２名のうち ５５名（男 ２８名、女 ２７名）が出席。

○来賓…衆議院議員	今井 雅人	様
参議院議員	渡辺 猛之	様
坂祝町議会議長	林 重光	様

(6) 郷土記念飛行について

昭和56年の成人式から実施し、今年で45回目となる伝統ある事業で、20歳の節目の年に「ふるさと さかほぎ」の上空から町の様子を知り、郷土への思いを改めて認識してもらうために実施している。

セントラルヘリコプターサービス（株）に業務委託し、1フライト8人乗りのヘリコプターを使って、坂祝町中央公民館駐車場から町内上空を2周、約10分間の遊覧飛行を行う。今年度は54名（男27名、女27名）が記念飛行を楽しんだ。

(7) 記念品について

会の始めに撮影した集合写真を配布。（後日郵送）



郷土記念飛行



ヘリコプター離陸前の様子

5 公民館活動

(1) 公民館講座

①公民館講座

講 座 名	回数	参加人数	学 習 内 容
子ども作法教室	1 8	1 5	日本の伝統文化である茶道、華道、着物の着装を学ぶことにより、日本文化の体験と礼儀作法を身に付けていく。
まち歩き「ぶらっと坂祝」 1 4弾 『晩春のロマンチック街道を散策』	1	2 5	役場からスタートしてロマンチック街道をあります。酒倉・取組・勝山の川沿いの歴史を振り返ります。
まち歩き「ぶらっと坂祝」 1 5弾『郷社坂祝神社と安楽寺の西国三十三所観世音菩薩』	雨天のため中止		中央公民館からスタートして郷社坂祝神社に行きます。その後、安楽寺で町指定文化財本尊聖観世音菩薩と西国三十三所観世音菩薩の由来について閑栖住職にお話を聞きます。東白川村との深いかわりがあります。
タウンカレッジ 第1弾 (岐阜協立大学出前講座) テーマ「町づくり」	1	3 0	まなびいかも丸講座と合同開催 「住み続けたい」を実現する為の町づくりを考えよう。
タウンカレッジ 第2弾 (岐阜協立大学出前講座) テーマ「健康とスポーツ」	1	3 5	=競技者経験から考える健康= 1. メンタル的な部分 2. 食べる物の知識 3. 薬品の知識 4. 体の力・言葉の力 5. 健康維持の予備知識

<成果と課題>

子ども作法教室は長い歴史があり、今もなお人気で定員を超える申し込みがある。内容も充実したものになっている。「清流の国ぎふ」文化祭2024にも参加して抹茶のお点前を披露してもらった。20年の長きにわたり講座を開催していただいたが、今期で終了となる。まち歩き「ぶらっと坂祝」は、前期・後期に1回ずつ予定していたが悪天候で1回しか開催できなかった。今年度からタウンカレッジ(岐阜協立大学出前講座)をまなびいかも丸講座に合わせて開催することになった。地元に居ながら大学の先生のお話を聞く機会ができた。



子ども作法教室(公民館まつり)



ぶらっと坂祝



タウンカレッジ

②成人コース（まなびいかも丸講座）

（ア）ねらい

まなびいかも丸講座は幅広い年齢層を対象とし、住民一人ひとりが、地方行政、自治会や地元企業との連携を深め、学級生自らのニーズによる学びは人生の豊かな糧となり、住民として現代地域社会を生きるため感性や知性を高め、住民力・自治力を身につけることを第一義とし、自ら学習を深めて学習成果を地域社会に還元し、更に向上する喜びを得るとともに充実した生きがいづくりを目的に講座を開設した。

- ・定住自立圏講座として学習環境を広げ、行政の枠を超えて講座を持つことで、学級生の学習意欲の向上と広域的な視野に立った地域社会への参画力を身に付ける。
- ・住民として、現代地域社会に生きる知識を高め、感性を深め、自治力を身に付ける。
- ・住民として、まちの基本的な情報と歴史情報を学び、自治活動に積極的に参画し郷土愛を培う。
- ・講演・講話・見学・映像情報等を通して、広く現代的課題を学ぶ。
- ・学びによる地域活動について理解を深め、地域間の人的交流を進め、地域づくり活動へ積極的に参加し、生きがいづくりとする。
- ・学級を通じて、明るく楽しい人間関係の輪を広げ、運営に主体的にかかわる。

（イ）開設期間

令和6年5月 ～ 令和7年3月

（ウ）受講申込者の数 30名（坂祝町12名・美濃加茂市17名・八百津町1名）

（エ）「まなびいかも丸講座」学習実施表

回数	月 日	内 容
1 開	5月16日（木） 13:30 ～ 15:00	形式 開講式&講話 講話 「健康食品」の上手な活用の仕方
2	6月20日（木） 13:30 ～ 15:00	課題 地域の企業を知る 見学 五十鈴東海株式会社
3	7月18日（木） 13:30 ～ 15:00	課題 地域の工場を知る 見学 合同会社 美濃加茂バイオマス発電所
4	9月19日（木） 13:30 ～ 15:00	課題 タウンカレッジ(岐阜協立大学) 講話 「まちづくり」 講師 准教授 菊本 舞 先生
5	10月27日（日） 13:00 ～ 15:00	課題 坂祝町歴史フォーラム 「坂祝の古代史をひも解く」 講師 名古屋大学教授 梶原 義実 先生 岐阜聖徳学園大学 中井 正幸 先生 【清流の国ぎふ文化祭2024】
6	11月21日（木） 13:30 ～ 15:00	課題 地域の施設を知る 見学 かもーる リバーポートパーク美濃加茂
7	12月7日（土） 13:30 ～ 15:00	課題 人権について考える 講話 「それでも生きる意味がある」 講師 シンガーソングライター 南 修治 氏

8	2月20日(木) 13:30～15:00	課題 講 話 講 師	タウンカレッジ(岐阜協立大学) 「健康とスポーツ」 岐阜協立大学 揖斐 祐治 先生
9	3月 8日(土) 3月 9日(日) 9:00～16:00	課 題	第20回公民館まつり特別講話を聞く
10 閉	3月27日(木) 13:30～15:00	形 式 講 話 講 師	閉講式&講話 「介護の現状と住み慣れた家で過ごすには」 医療法人清仁会のぞみの丘ホスピタル

<成果と課題>

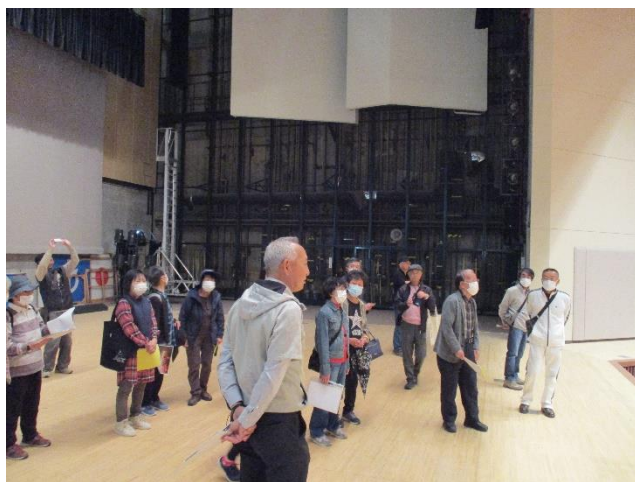
地域の企業や施設の見学は昨年度より少なくなったが、「清流の国ぎふ」文化祭を含め大学の先生方のお話を聞く機会が増えた。毎回講座後の質問タイムでは多くの質問が出て、受講生の意欲が感じられた。



美濃加茂バイオ発電所



リバーポートパーク



かもーる

③かもまる住民体験講座（定住自立圏講座）

（ア）ねらい

岐阜県は山紫水明の県土をもち、四季を通して自然が織りなす素晴らしい景観と、この地を愛し、豊かな生活環境を育んできた先住の人々の足跡が民俗(風俗)として各地に息づいている。

美濃加茂市と加茂郡は定住自立圏構想により生涯学習（学びのとびら）を共同で推進し、市町村の学習資源の効果的な活用と住民の学習機会の拡大、提供により、地域が生涯学習による住民の交流と協働による活性化と豊かな地域社会の創造が期待されている。

今回、このような背景を基に自然環境を学習舞台とした住民体験講座を企画し、健康づくりと人々の交流、社会・環境学習を通して地域の成り立ちを学ぶことは学習者の新たな発見と体験になる。かもまる住民体験講座では住民意識の高揚とヤル気、参加スル気、自立スル気の醸成を目的に講座を開設した。

（イ）「かもまる住民体験講座」学習実施表

実施予定日時	内 容	参加者	学 習 場 所
4月20日（土） 9:00～12:00 【受付8:30から】	「小山観音から里山へと 続く陽春の道」	20名	【行 先】 ・小山観音 ・小山寺 ・津田左右吉博士記念館 ・下米田さくらの森 ・馬串山
11月9日（土） 8:30～11:30 【受付9:00から】	「晩秋の伊深の郷と正眼 寺を散策」	18名	伊深交流センター ⇒ 天王用水 ⇒ 最乗寺 ⇒ 伊深温泉跡 ⇒ 高倉神社 ⇒ 天王用水取水口 ⇒ 伊深義民・戦没者の碑 ⇒ 秀文義校跡 ⇒ 正眼寺 ⇒ 禅徳寺 ⇒ 伊深交流センター

<成果と課題>

前期・後期1回ずつ開催することが出来た。前期は小山観音からスタートして下米田町を巡った。後期は町の歴史を大切に保存している伊深町を散策した。個人で歩くだけでは見落としてしまうことも丁寧に案内・説明がありより理解を深めることができた。



美濃加茂市 伊深町



美濃加茂市 下米田町

④高齢者コース（鳩吹大学）

（ア）ねらい

高齢者が、健康で自立し、社会参加と仲間づくりの輪を広げ、自ら学習の機会を持ち、積極的に企画運営と情報発信をし、地域活動への参加をめざすことは、高齢期の可能性を開き、高齢社会における地域の一員として豊かで充実した生きがいをづくりを目的に講座を開設した。

- ・進んで体験講座に参加し、自らの健康の保持と増進を図る。
- ・集団活動や相互学習を通して、明るく楽しい生き方と仲間づくりを身に付け、学習成果を公表し生きがいを味わう。
- ・自らが培った豊かな技能、知識を活かし、さらに、現代に対応できる教養と新しい感覚を身に付ける。
- ・現代的な地域課題を正しく理解し、地域の一員として積極的に地域活動へ参加をする。
- ・災害から身を守り、安心安全で豊かな生活をめざす。

（イ）開設期間

令和6年5月 ～ 令和7年3月

（ウ）受講申込者の数

38名（坂祝町 16名 美濃加茂市 21名 川辺町 1名）



郷土資料館



からだのセルフチェック



歌唱教室



和菓子作り

(エ)「鳩吹大学」学習実施表

回	実施日	曜日	開講時間	内 容	学習場所
1	5月22日	水	9:45～11:30	形式 開校式&講話 講話 元気は食生活から 講師 坂祝町保健センター 管理栄養士 可児・篠田 先生	中央公民館 2階 研修室
連	5月22日	水	11:30～12:00	・第1回連絡委員会 連絡委員長・副委員長選出 前期の講座について	
2	6月26日	水	9:45～11:30	課題 朗読落語・懐かしのうた・紙芝居を楽しもう 講師 牧 幸一 先生	中央公民館 2階 研修室
3	7月24日	水	9:45～11:30	課題 新郷土資料館を見る 見学&説明 講師 ふるさと会(郷土史研究会)	坂祝町 郷土資料館
4	9月25日	水	9:45～11:30	実習 脳トレ体操と健康体操で若返り 講師 佐藤 裕子 先生	中央公民館 2階 研修室
5	10月27日	日	13:00～15:00	【国民文化祭2024 坂祝会場】 課題 坂祝町歴史フォーラム「坂祝の古代史をひも解く」 講師 ・名古屋大学教授 梶原 義実 先生 ・岐阜聖徳学園大学 特別研究員 中井 正幸 先生	坂祝町 郷土資料館
6	11月27日	水	9:45～11:30	実習 和菓子を手作りしてお茶会をしよう 講師 永田 郁子 先生	中央公民館 2階 調理室
7	12月7日	土	13:00～ 15:00	課題 人権について考える 講話 「それでも生きる意味がある」 講師 シンガーソングライター 南 修治 先生	中央公民館 1階 ホール
連	1月22日	水	9:45～11:30	・第2回連絡委員会 後期の講座について 公民館まつりについて	
8	2月26日	水	9:45～11:30	実習 歌唱教室 講習 思い出の歌を楽しく皆で歌いましょう 講師 安西 玲子 先生	中央公民館 1階 ホール 3階視聴覚室
9	3月8日 3月9日	土日	9:00～15:00	形式 「第20回公民館まつり」に参加 課題 特別講座	中央公民館 1階 ホール
10	3月26日	水	9:45～11:30	講話 「からだのセルフチェック」 講師 理学療法士 片桐 辰徳 先生 看護師 鈴木 幸 先生 形式 閉校式 課題 親睦を深める ・来年度の講座について ・来年度の受講生募集について ・来年度の連絡委員選出について	中央公民館 2階 研修室

⑤マイセルフ講座（さかほぎカルチャー マイセルフ）

町民の主体的な生涯学習体系を構築することを目的として、町民自身が講師となって立ち上げる「町民企画講座 さかほぎカルチャー マイセルフ」を設けた。『マイセルフ』は「自分の特技を広めたい」「自分の趣味をたくさんの人と楽しみたい」と思われた方が講師となって企画された講座である。

《前期講座》

講 座 名		定員	受講者数 申込者数	内容	未開講
マイセルフ講座					
01	ベビーマサージ&ママのリンパマサージ	10	5	子ども対象	
02	はじめてのABC	10	4	子ども対象	●
03	I can do it!	10	6	子ども対象	
04	ベビーリトミック	10	7	子ども対象	
05	リトミック①	10	10	子ども対象	
06	リトミック②	10	10	子ども対象	
07	親子で楽しむうたと紙芝居・絵本ライブ講座	10	6	子ども対象	
08	個性學で不安を解消!	10	1	子ども対象	●
09	ママといっしょモンテッソーリ絵画講座	6	3	子ども対象	●
10	親子でフラダンス	6	1	子ども対象	●
11	AIで絵本をつくろう	6			●
12	一緒に備える、無理ない老化術	10	0		●
13	己書幸座～筆ペンで味のある字を書こう～	10	10		
14	仏像彫刻と木彫り	10	7		
15	トラベル英会話	10	10		
16	楽ラクきもの着付講座	10	11		
17	注文の多い朗読会	10	0		●
18	Self care yoga	13	9		
19	Care Beauty yoga	13	14		
20	Men's yoga	13	10		
21	美筋アップ!50歳からの健康体操	12	7		
22	体スッキリ!目指せ美ボディ教室	12	12		
23	セルフリンパケア&簡単バランスボールで免疫力アップ	7	5		
24	朝一リンパストレッチ	10	12		
25	骨盤調整ストレッチ	10	10		
26	姿勢体操教室(昼)	6	5		
27	姿勢体操教室(夜)	6	6		
28	60歳からの筋トレと脳トレ	10	10		
29	太鼓で元気エクサドン①	8	8		
30	太鼓で元気エクサドン②	8	6		
31	スイート教室	10	10		
32	タルト&キッシュ	10	10		
32	カフェ風スイーツ講座	10	10		
33	ノルディックウォーキング	15	11		
34	ペーパーバンドでカゴ作り	10	5		

●…………申込みが5人に満たなかったため、開講できなかった講座

<成果と課題>

新しい講座も加わり募集をかけることができた。子ども対象講座は申込希望者が多く講座も充実することができた。



骨盤調整ストレッチ



己書幸座



美筋アップ! 50歳からの健康体操

《後期講座》

講 座 名		定員	受講者数 申込者数	内容	未開 講
マイセルフ講座					
01	あかちゃん発達教室	8	0	子ども対象	●
02	体軸ベビー運動あそび	10	10	子ども対象	
03	キッズ運動あそび	10	10	子ども対象	
04	ベビーリトミック	10	10	子ども対象	
05	リトミック①	10	10	子ども対象	
06	ステップアップリトミック	6	6	子ども対象	
07	親子で楽しむ うたと紙芝居・絵本ライブ講座	10	0	子ども対象	●
08	キッズ(硬式)ミニテニス	8	2	子ども対象	●
09	はじめての ABC	10	9	子ども対象	
10	I c a n d o i t !	10	7	子ども対象	
11	ママといっしょモンテッソーリ絵画講座	6	6	子ども対象	
12	脳トレ麻雀	8	8		
13	脳トレぬり絵	12	1		●
14	スポーツ吹矢	10	5		
15	大人はじめてフラダンス	10	6		
16	太鼓で元気エクサドン①	8	0		●
17	太鼓で元気エクサドン②	8	0		●
18	50代からのおとなのおしゃれ塾	20	4		●
19	アロマリンパストレッチ	10	10		
20	骨盤調整ストレッチ	10	10		
21	読み聞かせのため紙芝居・絵本ライブ講座	10	0		●
22	Men's yoga	13	7		
23	Self care yoga	13	13		
24	Care Beauty yoga	15	15		
25	ママのためのリラックスバランスボール	10	2		●
26	チェアエクササイズで身体と心メンテナンス	15	1		●
27	自分が分からない?個性学で「自分探し」を終わらせよう!	10	4		●
28	60歳からの健康体操	10	10		
29	スタイルアップ!美ボディ教室	10	10		
30	和菓子教室	10	8		
31	焼き菓子	10	10		
32	姿勢体操教室(昼)	6	5		
33	姿勢体操教室(夜)	6	5		
34	経験者のインドアテニス教室	10	8		
35	シルバー(硬式)テニス	8	5		
36	楽ラクきものステップアップ教室	10	11		
37	Basic English	10	8		

38	仏像彫刻と木彫り	10	4	●
----	----------	----	---	---

●……申込みが5人に満たなかったため、開講できなかった講座

<成果と課題>

多くの講座を企画し、受講者がより前向きに取り組むことができたようになった。後期講座で最低受講者人数に達することができなかった講座が12講座あった。

⑥夏休み子どもチャレンジ教室 in 公民館

夏休みの子どもたちの体験の場として子ども向け講座を企画し、募集した。

日にち	内 容	場 所	備 考
7月26日(金) 9:30~12:00 【参加者12家族 18人】	◎ <u>子どものパン& デザートづくり</u> メニュー：ぼうし&パン& すいか&ゼリー 【指導：永田郁子先生】	中央公民館 ・調理室	・対象者：小学3年生以上は子のみ参加可 小学2年生以下の子は保護者同伴 ・受講料：1家族100円 ・材料費：ひとり400円 ★申込み必要 定員：12組 ★申込み締切 7月19日(金) ・持ち物 筆記用具・エプロン・フキン3枚 パンを入れる容器・バンダナ 手拭タオル・マスク・飲み物
7月30日(火) 10:00~11:30 【参加者6人】	企業親子見学 【(株)大王製紙可児工場】 工場内はマイクロバスを使います。ト イレットペーパー・ティシュペーパー の製造ラインを見学します。	【現地集合】 大王製紙株式 会社可児工場 【会社内の駐車 場をご案内し ます】	 ・受講料：無料 ・対象者：小学生とその保護者 ★申込み必要 定員：20組 ★申込み締切 7月19日(金) ※電話申込可 ・持ち物 飲み物
7月31日(水) 10:00~11:00 【参加者0人中止】	◎ <u>リズム運動!</u> リズムに合わせて思いっきり踊ろう! 暑い夏を吹き飛ばそう! 【指導：山口 彩花先生】	 中央公民館 ・研修室	・対象者：小学生 ・受講料：ひとり100円 ★申込み必要 定員：15人 ★申込み締切 7月19日(金) ・持ち物 動きやすい服装・飲み物 動きやすい靴・タオル
8月2日(金) 9:30~13:00 【参加者 7家族10人】	◎ <u>夏休みファミリー食育研修</u> メニュー：フレンチトースト ほか 夏休みに手軽に作れる料理に挑戦! 【指導：食生活改善推進協議会】	中央公民館 ・調理室	・対象者：小学4年生以上は子のみ参加可 年長児~小学3年生以下の子は保護 者同伴(祖父母可) ・受講料：1家族100円 ・材料費：ひとり200円 ★申込み必要 定員：各12家族 ★申込み締切 7月19日(金) ・持ち物 筆記用具・エプロン・フキン3枚 バンダナ・手拭タオル・マスク 飲み物
8月3日(土) 9:30~13:00 【参加者 3家族6人】			

日にち	内 容	場 所	備 考
8月6日(火) 10:00~11:00 【参加者 1家族中止】	◎紙芝居と歌で遊ぼう 紙芝居と絵本と歌をみんなで楽しもう! 【指導：牧 幸一先生】	中央公民館 ・研修室	・対象者：小学1年生以上は子のみ参加可 園児は保護者同伴 ・受講料：ひとり100円 ★申込み必要 定員：30人 ★申込み締切 7月19日(金) ・持ち物 飲み物
8月7日(水) 13:30~14:30 【参加者20人】	◎環 境 講 座 〈ヴェネチアンアクセサリー を作ろう〉 ～わくわく体験館出前講座～ ミルフィオリ(千の花)と呼ばれる美しいガラスを使ってアクセサリーやキーホルダーを作ります。ミニ皿やイヤリングなど新しいバージョンも増えました。 【坂祝町役場 水道環境課】	中央公民館 ・研修室	・対象者：年少児以上 (小学生未満は保護者同伴) ・受講料：400円 ★申込み必要 定員：各20人 ★申込み締切 7月19日(金)
8月7日(水) 14:30~15:30 【参加者20人】			
8月8日(木) 10:00~11:00 【参加者10人】	◎私だけの古鏡作り 古墳に副葬されていた古鏡をまねて手作ります。  【指導： 兼松和夫先生】	郷土資料館 (小学校体育館 1階北側)	・対象者：小学3年生～中学3年生 ・受講料：ひとり100円 ・材料費：ひとり300円 ★申込み必要 定員：10人 ★申込み締切 7月19日(金) ・持ち物 ハサミ・カッター・筆記用具 手拭き・飲み物・バターナイフ 等
8月10日(土) 13:30~14:30 【参加者110人】 ※ライブ終了後、しおり作りを行います。是非参加ください。	ブックフェスタ2024  昨年に引き続き、杉山三四郎さんによる絵本の弾き語りライブを開催します。 どなたでも参加できます。 【子どもの読書活動実行委員会】	中央公民館 ・ホール ・ロビー	・対象者：どなたでも 小学生未満は保護者同伴 ・入場料：無料 ★整理券は7/2(火)より配布します。 【配布場所：中央公民館・バンビー二】 当日のご来館をお待ちしています。 ※整理券がなくても入場できます。

成果と課題>

夏休みの公民館講座として多く子どもたちが参加してくれた。企業親子見学も企業の協力により開催することができた。今年度郷土資料館をオープンしたので、古鏡づくりの講座を郷土資料館を会場にしてふるさと会のメンバーと一緒に開催することができた。



子どものパン&デザートづくり



ヴェネチアンアクセサリーを作ろう

(2) 坂祝町公民館まつり (第20回)

今年度は20回目の記念すべき公民館まつりにあたる。中央公民館は地域住民の多様な学習機会の場として、地域参画の機会の場としてまちづくり、人づくりの一翼を担っており、生涯学習の町づくりとして「学びの場・交流の場として人や地域を結ぶ」をテーマで、活動や学習の成果を発表する機会として実行委員会を組織し企画した。20回目の公民館まつりとして特別ステージと特別講座を企画した。またより多くの町民や子どもたちに参加してもらうため、体験コーナーを設けスタンプラリーを行った。

◎ねらい

- ・公民館を拠点に活動している社会教育団体を始めサークル、学級、講座等で団体や個人が学習の成果を自主的に発表・公表することにより、学習者と町民の交流の場とする。
- ・定住自立圏協定により、地域の住民が公民館まつりを機会に生涯学習等を通して交流を図り、住みよい地域、まちづくりを意識した活動のきっかけとする。
- ・公民館に地域の方々が自由に集い、地域の拠点としての施設を体験し、お互いに楽しく過ごせるよう、自主的な実行委員会で運営する。

催期日 【展示・ステージ・バザー・体験】

・3月8日(土)～3月9日(日) 9:00～16:00

※最終日9日(日)は15:00に終了し片付

【特別ステージ】

日時：3月8日(土) 13:40～14:55

出演者：フォーエヴァーズ

曲名：僕の胸でおやすみ 22歳の別れ 他

観客数：140人

【特別講演会】

日時：3月9日(日) 13:30～14:30

演題：「芦戸遺跡の発掘調査で見つかった土器・石器から見えてきたこと」

講師：南山大学准教授 上峯 篤史 先生

受講者：80人

会 場 展示・体験部門 … 1Fロビー 1Fホール(後方) 2F研修室 スポーツドーム
ステージ部門 … 1Fホール(前方)
カレーライス・抹茶 … 2F研修室
体験部門 … 3F 和室
バザー・キッチンカー … 1F 玄関周辺

総参加者 約1000人

主 催 坂祝町公民館まつり実行委員会 坂祝町教育委員会

〈成果と課題〉

第20回目の開催として特別ステージと特別講演会を開催した。多くの来館者を迎えることができた。文化に触れる機会として大人も子どもも参加できる体験コーナーを9カ所設けた。多くの参加があり、どのコーナーも大盛況で準備していた材料が足りないほどだった。
JRC のメンバーがステージの司会や体験のスタッフ・バザースタッフとして地域の人と一緒に盛り上げてくれた。



特別ステージ「フォーエヴァーズ」



彩友会 体験 めり絵



ロビー付近 展示会場



ステージ さかほぎ踊り保存会

(3) 第24回さかほぎ町民まつり

開催日：11/17(日) 9:30～15:30

展示…会場： スポーツドーム内

内容： 文化協会・青少年育成・保健センター・チャイルドBOOK リユース・つくんこ教室
園、小作品・一般応募作品・生涯学習講座、サークル・社会教育団体・行政関係団体
人権擁護委員・日赤奉仕団 等

〈成果と課題〉

幼・こども・保・小の作品を見に来る人が多かった。柴田自動車が初めて車を展示され、一般個人の展示も増えた。常にスポーツドームの展示会場は来客者があり、途切れることなく楽しんでもらえた。

ドームの展示を見るのを目的で町民まつりに来られる方も増えたように感じる。



遊々こども園



チャイルド用品リユース



柴田自動車



スポーツ少年団

(4) 町民ギャラリー

中央公民館は町民の多様な生涯学習の要求に応え、町民の自主的な参画意識の向上と生涯学習、文化活動の振興を図っていくものであり、文化活動は地域の人々の主体性・自主性を喚起し、多様なニーズを的確に把握し、尊重し、活動の機会や場を提供することにより、文化の薫り高いまちづくりに資するものである。中央公民館ではロビーを町民に開放し、町民の多様な作品を計画的に展示し、公開し、交流の場としている。

町民ギャラリー (令和6年度)

期 間	出展者氏名	出 展 内 容
2024.4.1～2025.3.31	れいわの会	パソコン作品
2024.4.1～2025.3.31	坂祝ふるさと会	新しい郷土資料館の配置図と施設名募集
2024.4.1～2024.11.24	教育委員会	国民文化祭 2024 啓発
2024.6.1～2025.3.31	国民文化祭実行委員会	国民文化祭 2024 ちーオン制作作品
2024.8.5～2024.9.30	文化協会	行燈
2024.8.9～2024.8.31	教育委員会	ブックフェスタ 2024
2024.8.20～2025.3.31	坂祝町スポーツクラブ	スポーツクラブの活動写真展

2024.10.1 2024.12.28	～ 小学2年生からのお礼状	中央公民館の皆さんありとうメッセージ
2025.3.10～2025.3.17	多様性生物パネル	環境水道課 酒向



文化協会 行燈



ブックフェスタ 2024



坂祝スポーツクラブ



「清流の国ぎふ」文化祭 2024 ちーおし



加茂地区の生物多様性

6 図書室

(1) 方針

町民の学習要求に応えられるよう、図書室を整備充実し、文化教養を高めて、豊かで文化的なうらおいのある町づくりをめざす。また、町民相互の仲間づくり、人づくりに努める。

(2) 重点

個人、グループへの貸し出しを活発にするとともに、よみきかせサークルの育成と活動を支援し、合わせて利用者の拡大を図る。また定住自立圏構想により美濃加茂市の図書館とシステムが一本化されたことで、より貸出冊数の増加と利用者の拡大・利用者の利便性を高めていく。また、ブックスタートを機会に、小さい頃から家庭で読み聞かせをすることの大切さを啓発していく。

「第4次子どもの読書活動推進計画」に沿って、子どもたちが本を好きになり、本とふれあい、関わりを深めることのできる環境づくりを基本方針として活動推進していきます。

(3) 活動内容

■図書室

①小学校よみきかせサークル「オレンジママ」

子どもたちに本の楽しさを伝え、本好きな子どもになってもらいたいと、平成10年から小学校でよみきかせを始めた。今では、乳幼児をもつお母さんから、すでに子どもが社会人になっているお母さんまで幅広い年齢の人達がメンバーとなって活動している。朝読書・昼休みのわくわくタイム・図書館出前の3本立てでグループごとに当番制でよみきかせを行っている。「オレンジママ反省会」の際、オレンジママさん同士で交流できる時間を設けた。

- ・会員数 14名

- ・《参考》例年の活動内容

- オレンジママのわくわくタイム（昼休み） 月1回 木曜日（令和6年度から復活）

- 昼休み時間（13：10～13：25） 2階図書館前の教室

- 朝読書 隔週月曜日（8：20～8：35）3年生～6年生 各クラス

- 各クラス、朝の会の時に行っている

- 図書館への出前よみきかせ 月1～2回 なかよし学級・1年生、2年生

- 国語の授業の時、図書館にてよみきかせを行っている

- ・「オレンジ文庫」開設（平成18年6月）

- 開設場所【小学校高学年各教室】オレンジ文庫の蔵書数 186冊

- ※平成18年度地域ボランティア活動推進事業の予算において絵本・児童書・大型紙芝居など50冊購入（平成18年6月）

- ※伊藤忠記念財団の「子どもの本100冊助成」を受ける（平成18年12月）

②ブックスタート

- ・開催日：離乳食相談日（6.9.12.3月の年4回）9：00～11：00

- ・場 所：保健センター

- ・対 象：5.6.7か月児の親子

- ・内 容：保健センターの離乳食相談に合わせて、司書が一組ずつの親子に実際によみきかせをしながら絵本の楽しさ・大切さを伝えた。小さい時から絵本のよみきかせをすることで、親子で同じ時間を共有し、たくさん言葉がけをすることにより、親子の関わり・ふれあいを深めることの必要性・重要性についての話をした。また、話を聞く力・読む力や言葉の獲得にとっても有効であることを伝え、その場で実際によみ

きかせをして、子どものうれしそうな顔を見てもらうことにより、親が思っているよりずっと小さい時から子どもは絵本を楽しむことができることを知ってもらった。

今年度は、34組の親子に渡すことができた。(当日、欠席した場合は中央公民館で渡した)ブックスタートに参加した保護者からは、「もらった絵本がお気に入り」「本をもらえることが嬉しい」という、感想があった。

■子どもの読書活動実行委員会

①「子ども読書の日」の取組講座

- ・開催日：5月24日（金）10：00～11：00
- ・場所：遊々こども園 遊戯室
- ・対象：保育園親子、町内幼児親子
- ・内容：演劇 劇団風の子「とんからり」
- ・参加者：70名



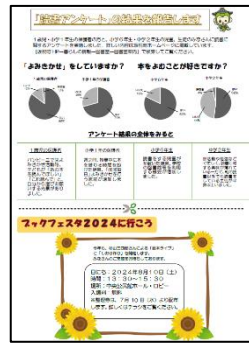
「子ども読書の日」取組講座
観劇 劇団風の子「とんからり」
(遊々こども園)

②「よみきかせ講座」取組講座

- ・実施内容：親子で「えほんゆうびん」と「実行委員会からのインタビュー」
- ・開催日：9月7日（木）
 - ・対象：幼稚園児の保護者
 - ・参加者：幼稚園児・保護者
 - ・内容：夏休みの中に、「お友達に読んでほしい&オススメの絵本」を決めて、はがき（絵：こども、文字：親）を製作した。当日、製作した「はがき」を他の親子とグループ交流をした。終了後、ポストに入れて園児はクラスに戻り、親向けに実行委員会から「講話」をした。質疑応答を交えながら、親と実行委員会で交流することができた。



よみきかせ講座
「えほんゆうびん」
(坂祝幼稚園)



★「Open Book」28号
(令和6年7月発行)

★「Open Book」29号
(令和7年2月発行)

※年に2回（7月・1月）、実行委員会で校正・発行。

④ブックフェスタ2024

- ・開催期間：2024年8月10日（土）
- ・場 所：坂祝町中央公民館ホール・図書室
- ・対 象：幼児から中学生、一般の方
- ・内 容：観劇、しおり作り

昨年に引き続き、杉山三四郎さん（岐阜市の絵本専門店「おおきな木」店主）による絵本ライブを開催した。「いろいろバス」「うし」「ハッピーボーギー」「ぼうしをとったら」等の絵本と音楽が合わさったライブ形式で、リズムに合わせて親子で楽しめた。終了後は、「しおり作り」を行った。実行委員会メンバーのほか、中学生ボランティア4名も一緒になって、子どもたちのお手伝いをした。およそ120人が来場し賑やかなイベントになった。



ブックフェスタ2024
「絵本ライブ」&「しおり作り」
(坂祝町中央公民館)

④ミニ・ビブリオバトル inSakahogi

- ・開催期間：2024年12月21日（土）
- ・場 所：坂祝町中央公民館ロビー
- ・対 象：小学生・中学生（町内在住）
- ・内 容：今年度で、3回目の開催となったミニビブリオバトル（発表時間を3分・質疑応答を2分）。今までで最多の小学生6名・中学生4名の参加があった。寒い中、各バトラーがおすすめしたい本を持ち寄って、本に対する自分の熱い思いをもって観戦者の前で堂々と発表した。アンケートの際、「開催時期の変更」「開催場所の移動」等の意見があったので、来年度の実行委員会で検討をする。



ビブリオバトル2024
坂祝町中央公民館

⑤アンケートの実施と検証

「第4次子どもの読書活動推進計画」に基づき、アンケートを作成し実施。アンケートの結果は町ホームページに掲載。今年も、1歳児の保護者、小学1年生、小学6年生、中学2年生へアンケートに協力をしていただいた。

◎子どもの読書活動実行委員会年間活動内容

	事業名	会場	内容等
5月15日 (水)	第1回実行委員会	中央公民館 15:00~16:30	・推進委員会会議内容報告 ・令和6年度読書活動推進事業について ・Open Book28号構成・担当決め ・坂祝町子どもの読書活動推進アンケート内容について(個人・団体)
5月24日 (金)	「子ども読書の日」取組講座	遊々こども園 10:00~11:00	「劇団風の子」 とんからり
6月26日 (水)	第2回実行委員会	中央公民館 15:00~16:30	・Open Book28号校正 ・ブックフェスタ2024について ・よみきかせ講座(幼稚園)について ・ビブリオバトル2024について
7月15日	Open Book26号発行		・自治会回覧 ・乳、園、小、中 配布
8月10日 (土)	ブックフェスタ2024	中央公民館 14:00~15:30	・杉山三四郎『絵本ライブ』 ・しおり作り
8月30日 (金)	第3回実行委員会	中央公民館 15:00~16:30	・第4次子どもの読書活動推進計画策定について ・よみきかせ講座について ・ブックフェスタ2023の反省 ・ビブリオバトル2023について
9月4日 (木)	「よみきかせ」取組講座	坂祝幼稚園 13:00~14:00	・「えほんゆうびん」 ・「講話」
10月25日 (水)	第4回実行委員会	中央公民館 15:00~16:30	・よみきかせ講座の反省 ・Open Book27号構成・担当決め ・ビブリオバトル2023について ・第4次子どもの読書活動推進計画について
11月22日 (水)	第5回実行委員会	中央公民館 15:00~16:30	・Open Book27号校正 ・ビブリオバトル2023反省 ・坂祝町子どもの読書活動推進アンケート内容について(個人・団体)
12月16日 (土)	ビブリオバトル2023	中央公民館 10:00~11:30	小学生の部・中学生の部
12月下旬	子どもの読書活動推進 アンケート実施		・対象:乳、小(1.6年)、中学生(2年) ・対象:各教育団体
1月15日	Open Book27号発行		・自治会回覧 ・乳、園、小、中 配布
2月15日 (水)	第6回実行委員会	中央公民館 15:00~16:30	・ビブリオバトル2023の反省 ・アンケート検証(個人・団体) ・令和5年度振り返りと次年度事業案 ・令和5年度読書推進委員会について
3月15日 (水)	坂祝町子どもの読書活動推進委員会への報告	中央公民館 15:00~16:30	・坂祝町子どもの読書活動アンケート(個人・団体)結果について ・令和5年度坂祝町子どもの読書活動実行委員会報告 ・令和6年度坂祝町子どもの読書活動実行委員会事業報告(案)

(4) 図書室利用状況

★利用者資格別貸出冊数・人数（令和6年度）

月	個 人		団 体		坂祝（他館貸出）※1		相 貸		合 計	
	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数
4	1666	320	25	1	68	31	3	3	1762	355
5	1525	306	62	6	81	36	0	0	1668	348
6	1998	404	41	6	57	29	2	2	2098	441
7	2100	423	10	6	97	45	0	0	2207	474
8	2101	413	11	3	87	42	0	0	2199	458
9	1829	355	101	7	66	32	2	2	1998	396
10	1681	359	17	4	72	40	0	0	1770	403
11	1713	358	6	3	71	38	0	0	1790	399
12	1900	369	51	5	69	34	0	0	2020	408
1	1734	349	16	9	88	44	1	1	1839	403
2	1822	373	12	5	82	41	1	1	1917	420
3	1944	396	10	4	80	49	3	2	2037	451
計	22013	4425	362	59	918	461	12	11	23305	4956

※1 美濃加茂中央図書館・東図書館へ貸出

★資料区分別貸出冊数（令和6年度）

月	一 般 冊数	児 童 冊数	坂祝（他館貸出）※1 冊数	大 型 冊数	郷 土 冊数	その他 冊数	合 計 冊数
4	594	1097	68	0	0	3	1762
5	577	1004	81	0	5	1	1668
6	650	1387	57	1	0	3	2098
7	632	1473	97	2	2	1	2207
8	617	1495	87	0	0	0	2199
9	585	1344	66	1	0	2	1998
10	618	1080	72	0	0	0	1770
11	607	1109	71	1	2	0	1790
12	638	1306	69	4	0	3	2020
1	607	1131	88	6	4	3	1839
2	617	1211	82	3	3	1	1917
3	628	1314	80	6	0	9	2037
計	7370	14951	918	24	16	26	23305

※1 美濃加茂中央図書館・東図書館へ貸出

★地区別資料区分別貸出統計（令和6年度）

太田町	326	842	0	1168
古井町	293	891	0	1184
蜂屋町	262	414	0	676
山之上	22	25	0	47
加茂野町	534	1084	0	1618
三和町	0	0	0	0
伊深町	6	1	0	7
下米田町	288	13	0	301
坂祝町	5982	11358	44	17384
加茂郡他	73	64	1	138
可児市	128	477	0	605
御嵩町	3	0	0	3
各務原市	60	28	9	97
関市	50	16	6	66
多治見市	0	0	0	0
岐阜県	8	2	0	10
愛知県	1	0	0	1
三重県	0	0	0	0
東海三県以外	0	0	0	0
不明	0	0	0	0
計	8030	15215	60	23305

(5) 成果と課題

- ・定住自立圏構想で美濃加茂市図書館と図書システムを一本化して14年目に入った。
- ・令和6年度より毎週月曜日も休館日に制定。貸出冊数に増減があった。(令和5年24840冊→令和6年23305冊)
- ・月曜日に借りていた利用者が、坂祝や美濃加茂の図書館を利用しているのか、それとも利用しなくなってしまったのかについては把握ができていない。今後の動向をみていきたい。
- ・昨年と同様、坂祝町の図書室と美濃加茂市の図書館を交互に利用している家族連れが多数見受けられる。大型連休明け、通常の土日に関しても、段ボール2・3箱分の返却数がある。坂祝町のカード又は、美濃加茂市のカードを利用して、各図書室(館)を相互で借りる返すことができるので、利用者にとっては利点ではないでしょうか。
- ・
- ・月に1回、図書室内を整理することを心掛けた。引き続き、利用者がより使いように館内整理を随時行い、居心地のいい雰囲気作りを心掛けたい。
- ・定住自立圏図書館講座では、「オマールえびの絵本×大道芸ライブ」を坂祝・美濃加茂(計2回公演)で開催した。絵本に大道芸がミックスされることにより、ダイナミックな絵本ライブとなった。また、来年度も「オマールえび」さんと呼んで、読書につながるイベントを開催する予定でいる。
- ・県内外の図書館とのネットワークの構築ができていて、すでに購入不可の図書等も含め、市民のリクエストのほとんどに対応することができた。(他館借受数 点・他館貸出数 点)
- ・学校図書館との連携。本来学校図書館では調べ学習の図書は岐阜県図書館の貸出文庫セットを利用でき、中央公民館図書室を介することで、岐阜県図書館の定期便制度が利用でき送料が無料になる。より多く利用できると良い。急なニーズで間に合わないときには、中央公民館図書室の蔵書を団体貸出して対応している。
- ・小学校の社会科見学で、図書室に来館した。簡単に図書室内の利用規約を説明して、図書室内で本を借りる機会をつくりました。また、来年度以降も社会科見学で利用してもらえようようにしたい。
- ・ブックスタートを初めて12年目になった。今年度から、5冊の中から1冊、絵本を選んでもらう方法に変更になった。絵本を開く楽しさや親子でのスキンシップ・絆の育み等をお伝えした。忙しい方や興味のない方等にも絵本に関わるきっかけ作りから、心ふれあうひとときを実施した。

7 文化協会

坂祝町文化協会は、文化活動の活性化と、サークル間で交流することを目的として活動している。町からは補助金の交付を受け公民館使用料を半額にするなどして、団体活動の支援と文化活動の振興を行っている。令和6年度では、1団体が脱退され全体で6団体となり、会員数は58名となった。

公民館ロビーでの行燈展示や、日帰り研修の実施、坂祝町ふるさとまつり等において日頃の成果を発表した。

団 体 名	部 会 の 目 的	人 数
園 芸	盆栽や山野草の栽培と、部員の親睦を図り、併せて地域の緑化意識を伝える。	10
三 味 線	人の心を大切にし、全体で調子を合わせ、一心となり、ふれあいを深める。	12
俳 句	狂俳・詩歌文芸の研究発表。	4
コーラス	合唱を通してふれあいを深める。	17
軽 音 楽	会員相互の融和を図り、音楽による豊かな表現力を付ける。	7
円空彫り友の会	木端仏や観音菩薩など、端材から自作の彫で作品を作る。	8
文化協会加入団体数 6団体		58

○主な活動内容

- ・行燈作り及び展示
- ・日帰り研修の実施（日本まん真ん中センター、美並ふるさと館）
- ・坂祝町ふるさとまつり（「清流の国」文化祭2024における坂祝町行事）、公民館まつりへの参加



行燈展示の様子



坂祝町ふるさとまつりでの発表の様子

8 社会体育（全般）

◆活動内容

（１）町民スポーツ大会等

自治会対抗のミニバレー大会からR4年度より、一般参加によるミニバレー大会に変更して開催した。

6月9日（日）に開催し、当日は全14チームが参加し、昨年度以上に参加者も増えて、ファミリーの部、一般の部と2部門で、子どもから大人までスポーツを楽しむことができた。



（２）スポーツレクリエーションフェスティバル

令和4年度に引き続きスポーツレクリエーションフェスティバルを開催した。令和6年度はスポ少、体協、スポーツクラブ、スポーツ推進委員、NPO法人坂祝まちづくり推進機構など16団体に加えて、中部学院大学からも出展をしてもらい、体験コーナーを充実することができた。キッチンカーの出店、軽トラ市の同時開催により、来場者が楽しんでもらうことができた。当日は多くの皆さんの協力により800名ほどの来場者があった。



（３）町体育協会の活動

坂祝町体育協会は、町民の体力向上と健全なる体育・スポーツの振興を図り、文化社会の発展に寄与することを目的に活動している団体で、体育活動の振興を支援している。各種目部では年間行事計画を作成し、野球大会やテニス大会などを開催する一方で、加茂郡体育大会や岐阜県民スポーツ大会などの大会で好成績を収めるために、強化練習等を実施している。

また、町民へ生涯スポーツの普及として各種目で教室を開催している。10月に開催したスポーツレクリエーションフェスティバルにもブースを作成し体験会を開催した。次回以降も引き続きブースを作成し、より多くの来場者がスポーツを楽しんでもらえるように活動をしていく。

【町体育協会における各種スポーツ大会・教室等】

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| ・軟式野球部 | 町民等を対象とした野球大会の開催（年4大会を開催） |
| ・バドミントン部 | 坂祝スポーツクラブ主催のバドミントン教室への講師派遣（年2回） |
| ・ソフトテニス部 | 町民や近隣市町村民を対象としたソフトテニス大会（年17回） |
| ・テニス部 | 町民を対象としたテニス大会（年2回） |
| ・家庭婦人バレー部 | 各種家庭婦人バレーボール大会（年3回） |
| ・ソフトバレー部 | 町民を対象としたソフトバレー教室、大会（年4回、大会1回） |
| ・サッカー部 | 坂祝スポーツクラブ主催のサッカー教室への講師派遣 |

※町体育協会各種目において、多くの大会が開催されている。中でも、ソフトテニスは、町内外の小中学生を対象に教室を多数開催している。

＜令和6年度 活動種目と登録者数＞

種 目	登録人数	種 別	郡 大 会 結 果
バレーボール	4 2	家庭婦人	2位
ソフトボール	0	一般・壮年・ 実年・エルダー	—
軟式野球	9 7	一般・壮年	5位
ソフトテニス	3 0	一般男女・壮年男女	—
剣 道	1 1	一般	3位
バスケット	1 0	一般男子	3位
サッカー	2 0	一般男子	優勝
バドミントン	1 0	一般男子	—
テニス	1 0	一般男女・壮年	一般女子、壮年 優勝
ゲートボール	0	一般男女	—
グラウンドゴルフ	1 2	一般	3位
ソフトバレーボール	2 0	一般の部	—
		壮年の部	—
		実年の部	—
卓 球	0	一般男女	—
合 計	2 6 2	総合順位	5位



(グラウンドゴルフ)



(サッカー)



(剣道)

(4) 日本ラインロマンチック街道マラソン

体育意識と体力の向上を図りながら、町内外を問わず多くの人たちにも広く呼びかけ、坂祝町の名を広め、町民との交流を図ることを目的として、「第26回日本ラインロマンチック街道マラソン」を下記のような実施要領で計画し開催した。

周知の結果、町内の小中学校、町スポーツ少年団をはじめ、近隣市町村のマラソン愛好家が数多く参加し、自慢の健脚を競い合った。



①実施要項

主 催	坂祝町
協 力	坂祝町体育協会・坂祝町スポーツ推進委員会・坂祝町教育委員会
後 援	中日新聞社
期 日	1/25 (土)
会 場	集 合 坂祝小学校南堤防道路 スタート 5.0km:一色堤防上 2.0km:一色公民館 ゴール 行幸公園
日 程	受 付 8:30～9:00 スタート会場へ徒歩で移動 スタート 9:40～ 閉 会 11:00～ ※閉会式は行わず、各部門終了時に表彰した。
コ ー ス	一色堤防上又は一色公民館から行幸公園 間 (2.0Km・5.0Kmは一般のみ)
種 目	小学生低学年(1～3年)・小学生高学年(4～6年) 中学生・高校、一般のそれぞれ男女
表 彰 者	各種別とも男女5位まで入賞とする。
参加資格	健康な方 小・中学生の参加は、保護者の同意書が必要
募集人員	先着300名
参 加 料	500円

②参加申込人数 (名)内は当日の参加人数

	一般 (5.0Km)	一般 (2.0Km)	中学生	高学年	低学年	合計
男子	26名(23名)	18名(17名)	56名(52名)	67名(64名)	52名(46名)	219名(202名)
女子	5名(5名)	8名(7名)	29名(23名)	55名(53名)	29名(27名)	126名(115名)
合計	31名(28名)	26名(24名)	85名(75名)	122名(117名)	75名(66名)	345名(317名)

(5) スポーツ推進委員会

総勢18名で2年任期の1年目の委嘱期間が開始した。

スポーツ推進委員は、町教育委員会が委嘱する非常勤職員で、町民のスポーツ推進のために、規則の定めるところにより、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整並びに、住民に対する、スポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うとしている。イベントについては令和4年度より、一般募集のミニバレー大会、スポーツレクリエーションフェスティバルと形を変えて開催しており、その主要な役割を担うことができ

た。ロマンチック街道マラソンについても昨年度よりさらに参加者が増加したが、タイムの計測など大きなトラブルなく開催することができた。その他、スポーツクラブと連携して、夏休みのレクスポ教室や、モルック大会での交流を行い、より連携した活動ができるようになった。また、公民館まつりと同日にドームにて軽スポーツ体験会を開催し老若男女問わず多くの方に軽スポーツを体験してもらうことができた。こうした軽スポーツの普及を通して、町民の方に少しでもスポーツを実施してもらえよう機会を設けることができたのは良かったかと思う。

新年度は、新たに委嘱される委員の方も含めてさらにスポーツ推進委員全員が坂祝町の生涯スポーツ発展に寄与することができるよう、スポーツクラブとも連携し様々な活動を行っていききたい。

期 日	行 事 名
6 / 9	ミニバレーボール大会
10 / 20	スポーツレクリエーションフェスティバル
1 / 25	第27回日本ラインロマンチック街道マラソン



(6) スポーツ少年団

町スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化を図り、団員のスポーツ活動を振興し、青少年の心身の健全育成を図った。そこで成長が著しい子ども時代には、まずからだを動かすことの楽しさや喜びを知ることが大切であるため、基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたってスポーツを楽しむ基盤をつくり「競う」だけでなく「楽しむスポーツ」という目標を目指した。また、スポーツだけでなく、野外活動や社会活動、文化活動など多岐にわたる活動を通して団員は協調性や創造性を養い、仲間との集団行動が社会のルールや思いやりの心を学ぶことができた。

体を動かすことの喜びや礼儀、指導者や保護者をはじめとする大人、学年の違う友達と交わることで、目上の人を敬う態度や感謝のこころ、あいさつの大切さも学んだ。

今年度は、数年振りの開催となった富山県での海王丸研修を開催した。坂祝町の代表として15名の団員が参加をし、他の少年団との交流を行ってきた。今回の研修会で体験・学んだことをこれからの学校生活や団での活動で活かしていきたい。今後、スポーツ少年団の団員が減少するおそれがあるため、増やすことのできるように活動していきたい。

① スポーツ少年団 単位団の構成とその団員数

単位団	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	年長	計
野 球	8名	6名	1名	5名	5名	0名	0名	25名
サッカー	11名	4名	2名	4名	1名	0名	1名	23名
バレーボール	5名	5名	3名	2名	2名	1名	0名	18名
計	24名	15名	6名	11名	8名	1名	1名	66名



◆成果と課題

令和6年度ではコロナ禍から令和4年度より再開したイベント等で参加者がさらに増加した。、その中で、特に町民運動会から変更して開催したスポーツレクリエーションフェスティバルでは、昨年度同様に多くの方が来場し、来場した方々からアンケートを取ったところ90%以上の方から楽しめた、満足できたという声を頂いた。やはりスポーツを楽しみたいという需要は多くあるため、これからのスポーツは、イベントだけでなく継続的な教室などについても、自由に参加でき、年齢性別問わず楽しめるものに変換していくなど検討が必要と感じた。

体育協会やスポーツ少年団の活動では、今年度も多くの大会等が開催され、各種目部で自主的な大会や教室の運営が活発に行われた。今後は、各団体での連携、協力体制づくりが必要かと思われる。子どもから高齢者まで、より多くの方にスポーツに親しんでもらえることを目指し、組織の再編等含めて町内のスポーツ環境を整備していく。

また、高齢者の健康寿命の延伸のため、スポーツ活動は有効なため、モルックをやグラウンドゴルフを始めとしたレクリエーションスポーツの普及や推進をしていきたい。

◆その他

社会体育施設・学校開放施設の貸し出し

令和5年度に引き続き、町外団体登録や個人利用も行った。町外者の利用希望者が多くいるため、料金改定を行い、町外料金の設定をし、令和7年度から適用することとなった。今後も安定した施設の維持管理のためにも適正な料金での運用を検討していく。

総合型地域スポーツクラブ ～坂祝スポーツクラブ～

平成25年2月22日、坂祝スポーツクラブを設立し活動を開始している。昨年度同様に、サッカー、モルック、運動遊び、走り方、バドミントン、マットサイエンス、筋トレ218、ノルディックウォーク・遊ぶ塾等の通年や複数回開催の教室や単発でのお菓子づくり教室を行った。参加者も昨年度より多くなり、会員も増加した。特に小学生の低学年の年代の運動離れを防ぐことができるように、サッカーも小学校1、2年生向けのキッズサッカー教室を開催し、運動遊び教室においてもスポーツの楽しさを伝えることができるように注力した。イベントとしてプール跡地を使った水鉄砲大会を開催し、100人以上が参加してご好評を頂いた。その他イベントとして町内寺院の長蔵寺、涼樹院と協力しお寺体験で町内の文化に触れるイベント行うことができた。またスポーツレクリエーションフェスティバルでボルダリング出展し、町民まつりにモルックを出展した。

町としては、クラブの事務員に教育課職員を充て、使用施設の使用料を無料とするなどの支援を行った。

【令和6年度クラブ会員数】

会員：166名 サポーター会員：38社（令和元年度以来の募集で過去最多）



モルック大会



水鉄砲大会

9 放課後子どもプラン

坂祝町放課後子どもプランとして、「子どもクラブ（学童保育）」と「子ども教室」を実施している。「子どもクラブ（学童保育）」は、就労等を理由に昼間家庭において適切な監護が得られない児童に対し、放課後及び長期休暇時に、遊びや学習を主とする活動の場を設けることにより、児童の健全育成を図り、もって子育て家庭の支援に寄与することを目的とした事業。「子ども教室」は、放課後に地域の方々の参画を得て、子ども達とともに運動、勉強及び文化活動、地域住民との交流活動及び体験講座等の取組を実施することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進に寄与することを目的とした事業です。

（１） 子どもクラブ（学童保育）について

○申請対象

1年生～6年生

○開所日時

土日祝日、お盆休み、年末年始を除く

下校～18時30分（長期休暇は8時～18時30分）

○活動場所

坂祝町キッズドリームワールド（坂祝小学校敷地内）

※長期休暇は人数が増えるため図工室を借りて使用。

○児童数（令和6年度登録者数）

平日通常利用 85名 長期通常利用 126名

平日随時利用 62名 長期随時利用 23名

○自己負担金

登録料 1,000円/年

通常利用料 平日（17時まで） 2,000円/月

平日（18時30分まで） 3,000円/月

長期休暇 10,000円/年

随時利用料 平日 500円/日

長期休暇 1,000円/日

※令和7年4月1日より、登録料、通常利用料（平日）をそれぞれ1,000円値上げ

（２） 子ども教室について

○申請対象

1年生～3年生

○開所日時

4月、長期休暇期間を除く

毎週水・木曜日 下校～16:30

○活動場所

小学校図工室又は、運動場

○児童数（令和6年度登録者数）

59名（定員無し）

○自己負担金

登録料 1,000円/年

※令和7年4月1日より、登録料を1,000円値上げ

令和6年度 子どもクラブ（学童保育）行事

4月 オリエンテーション	1年生に子どもクラブのルールを伝える。
7月 七夕飾り作成	七夕飾り（短冊等）を作成し、玄関に飾る。
9月 避難訓練1	地震を想定して運動場に避難する。
夏休み体験プログラム	週3回程、行事やレク、工作などを企画。
12月 クリスマスツリーの飾り作成	クリスマスツリーの飾りを作る。
12月 大掃除	午前・午後掃除をし、おやつにチキンラーメンを食べる。
1月 絵馬作成	絵馬を書いて玄関に飾る。
2月 避難訓練2	洪水を想定して小学校体育館2階に避難する。

令和6年度 子ども教室行事

プログラム	講師区分	実施予定回数
サッカー	町外講師	毎月1回程度
読み聞かせ	町内講師	毎月1回程度
工作 (七夕飾りづくり等)	支援員	毎月2回程度
おはじき・ビー玉遊び	支援員	2ヶ月に1回程度
シャボン玉	支援員	2ヶ月に1回程度
ドッチボール	支援員	2ヶ月に1回程度
オセロ	支援員	年3・4回
カード遊び	支援員	年3・4回
軽スポーツ	スポーツ推進委員	年3・4回
書道	町内講師	年1回
英語	町内講師	年1回
ギター教室	町内講師	年1回



子どもクラブ写真（作品作り）



子ども教室写真（書道）

10 文化財

(1) 町内の文化財

番号	種別等	種目	名称	時代	員数	所在地	所有者	指定年月日	指定番号
							管理者		
1	建造物	建造物	岩屋観音堂	江戸	1	勝山938-1	勝山区	H12.3.16	坂有第5号
2	建造物	建造物	黒岩神社の一の鳥居	江戸	1	黒岩1232-1	黒岩神社	H12.9.26	坂有第10号
	建造物		計		2	坂祝町			
3	美術工芸品	彫刻	西国三十三所観世音菩薩	江戸	1	大針31-1	安楽寺	H4.6.17	坂有第1号
4	美術工芸品	工芸品	伝 源義綱奉納の轡	平安	2	黒岩1232-1	黒岩神社	H10.3.10	坂有第2号
5	美術工芸品	彫刻	獅子頭	江戸	1	黒岩1232-1	黒岩神社	H10.5.12	坂有第3号
6	美術工芸品	書跡	稲葉正休寄魚状	江戸	1	深萱855-1	涼樹院	H10.5.12	坂有第4号
7	美術工芸品	彫刻	安楽寺本尊聖観世音菩薩	平安	1	大針31-1	安楽寺	H12.9.26	坂有第6号
8	美術工芸品	工芸品	涼樹院古渡書織九條御袈裟	江戸	1	深萱855-1	涼樹院	H12.9.26	坂有第7号
9	美術工芸品	彫刻	酒倉庚申像	江戸	1	酒倉423-2	佐藤秀昭	H12.9.26	坂有第8号
10	美術工芸品	彫刻	取組庚申像	江戸	1	取組4-1	取組区	H12.9.26	坂有第9号
11	美術工芸品	絵画	河尻肥前守肖像の軸	江戸	1	酒倉169	長蔵寺	H26.10.7	坂有第11号
	美術工芸品		計		9	坂祝町			
	有形文化財		計		11	坂祝町			
12	史跡	古墳	火塚古墳	古墳	1	酒倉1746-2	酒倉共有林 共有地組合	S58.3.17	坂史第1号
13	史跡	城跡	猿まみ城跡		1	勝山934-1	勝山区	H12.9.26	坂史第2号
14	史跡	行幸跡	行幸巖		1	取組	国土交通省	H13.4.6	坂史第3号
15	史跡	川湊跡	取組渡瀬跡		1	取組	国土交通省	H13.4.6	坂史第4号
	史跡		計		4	坂祝町			
	坂祝町		合計		15	坂祝町			

16	その他	国指定	名勝 木曾川	17	県指定	建造物	深萱の農村舞台
----	-----	-----	--------	----	-----	-----	---------

(2) 郷土資料館リニューアルオープン

令和6年4月4日から新郷土資料館としてリニューアルオープンした。特設展示コーナーは随時入れ替えを行う。土器は中央公民館2階ロビーから8月に移動し展示した。12月12日に来館者1000人記念イベントを開催することができた。1年かけて郷土資料館の愛称を募集し、「ふるさと館」と決まった。

郷土資料館 特設展示 (令和6年度)

月	特設展示コーナー 展示内容	小展示 展示内容	新聞掲載
4 月	ふるさと写真展	明治時代の取組 地区	リニューアルオープン（中 日・岐阜・ちゅーた）
5 月			
6 月			
7 月	古布作品展(藪下くに子・小島光 子)	戦争を考える	古布展(中日・ちゅーた)
8 月			
9 月	東野遺跡と梅替古墳から出土した土 器・石器から坂祝の原始・古代を知 る		土器・石器展(岐阜・ちゅー た・朝日)
10 月			
11 月	水墨画(森艶子と仲間たち) 11/7～1/16	百年前の坂祝の子 どもたち	1000 人来館者達成イベント 12/12(ちゅーた・岐阜新聞・ 中日新聞)
12 月			
1 月			
2 月	ひなまつり		3/1 ちゅーた掲載
3 月			



ふるさと写真展



ひなまつり展

(3) 坂祝町郷土史研究会(ふるさと会)

令和6年度 坂祝ふるさと会(郷土史研究会)活動

	開催月日	事業内容	郷土資料館開館日 【10:00～15:00】					来館者数
4月	4月27日(土) 13:30 郷土資料館	令和5年度 活動報告・収支報告 令和6年度 活動計画 役員決め	4/4 (木)	4/11 (木)	4/18 (木)	4/25 (木)		190
5月	5月25日(土) 岐阜市博物館	「岐阜の古墳」 岐阜市博物館 見学 L R 高山線 坂祝出発 9:38 公用車出発 9:30	5/2 (木)	5/9 (木)	5/16 (木)	5/23 (木)	5/30 (木)	73
6月	6月22日(土) 13:30 郷土資料館	・古文書整理 ・ガラスケース展示入れ替え テーマ:戦争を考える	6/6 (木)	6/13 (木)	6/20 (木)	6/27 (木)		115
7月	7月11日(木) 10:00～11:00 郷土資料館	中学1年生 ふるさと巡り (雨天の為ラフティング中止に伴い) ・資料館クイズ	7/4 (木)	7/11 (木)	7/18 (木)	7/25 (木)		94
	7月24日(水) 9:45～ 郷土資料館	鳩吹大学 「新郷土資料館を見る」						
	7月27日(土) 13:30～ 美濃加茂市文化の森	美濃加茂文化の森 「蚕とまゆ展」						
8月	8月8日(木) 郷土資料館	夏休み講座(鏡づくり)	8/1 (木)	8/8 (木)	8/22 (木)	8/29 (木)		91
9月	9月28日(土) 13:30～ 郷土資料館	土器・石器ガラスケース展示	9/5 (木)	9/12 (木)	9/19 (木)	9/26 (木)		36
	9月10日(火) 13:35～ 小学校	小学校6年生 ふるさと巡り ・中山道・勝山湊・一里塚 ・岩屋観音堂						
10月	10月19日(土) 13:00～ 郷土資料館	「清流の国ぎふ」文化祭 2024 坂祝会場 講話「芦戸遺跡を知る」 講師 南山大学 上峯教授	10/3 (木)	10/10 (木)	10/17 (木)	10/24 (木)	10/31 (木)	352
	10月27日(日) 13:00～ 郷土資料館	「清流の国ぎふ」文化祭 2024 坂祝会場 講話「坂祝の古代史をひも解く」 講師 名古屋大学 梶原教授 岐阜聖徳大学 中井先生						
11月	11月22日(金) 10:40～ 郷土資料館	多文化交流の発表会に向けて事前学習(小6)	11/7 (木)	11/14 (木)	11/21 (木)	11/28 (木)		38
	11月23日(土) 12:00～ 県博物館	県博物館 見学 忘年会						
12月	12月3日(火) 10:00～ 酒倉・深萱	勉強会 ・輪形古窯 ・雲埋廃寺	12/5 (木)	12/12 (木)	12/19 (木)	12/26 (木)		37
	12月12日(木) 13:00～ 郷土資料館	本巣市 文化財ボランティア団体 来館						

1月	1月25日 (土) 14:00～ 郷土資料館	公民館まつり展示打ち合わせ 「100年前の坂祝の子どもたち」 意見交換	1/9 (木)	1/16 (木)	1/23 (木)	1/30 (木)		30
2月	2月22日 (土) 13:30～ 中央公民館	公民館まつり展示物作成	2/6 (木)	2/13 (木)	2/20 (木)	2/27 (木)		231
3月	3月2日(日) 10:00～ 郷土資料館	おひなまつり【日曜開館】	3/2 (日)	3/6 (木)	3/13 (木)	3/27 (木)		
	3月4日(火) 9:30～ 犬山城下町	犬山市ひなまつり見学						
	3月8日(土) 9日(日) 中央公民館	公民館まつり展示						
	3月22日 (土) 13:30～ 郷土資料館	令和6年度 活動報告・会計報告 令和7年度 活動計画						

〈成果・課題〉

郷土資料館の開館に伴い、企画・運営に積極的に参加してもらった。特設展示の企画から団体来館者の対応など活動も充実した。ふるさと会の協力で郷土資料館の運営ができています。



夏休みこども講座 古鏡づくり研修



犬山城下町 ひなまつり展



輪形古窯 勉強会



雲埋廃寺 現地勉強会

(4) 文化財防火デー

日時 … 1/24(金) 消防署の防火査察

内容 … 県指定文化財 「深萱の農村舞台」(十二社神社)

氏子総代に**防火デー**実施要項を手渡し、内容を理解してもらった。

十二社神社の掲示板に「文化財防火デー」のポスターを掲示した。

(5) 文化財保護審議会・郷土資料館運営委員会

◎郷土資料館運営協議会

日時 … 2/4(火)

- 内容 …
- ・郷土資料館の開館状況と活動内容について
 - ・特設展示コーナーについて
 - ・郷土資料館の愛称決定について
 - ・令和7年度郷土資料館運営協議会委員の委嘱について

〈成果・課題〉

郷土資料館のリニューアルオープンにあたり、展示や掲示・企画・運営についてふるさと会と話し合いながら進めている。ふるさと会の協力により、順調に運営できており、来館者からもお褒めの言葉をいただいている。郷土資料館としてだけでなく、多目的施設としても考えていきたい。

郷土資料館運営協議会委員が2名となってしまったため、令和7年度から3名追加し、5名体制にしていく。

◎文化財保護審議会

日時 … 2/14(金)

- 内容 …
- ・国・県・町文化財保護について
 - ・小学校3年生 ふるさと教育
 - ・小学校6年生 ふるさと巡り
 - ・清流の国ぎふ 文化祭2024
 - ・公民館講座「ぶらっと坂祝」で文化財を訪ねる

〈成果・課題〉

1年間の文化財保護の動きと小学校でのふるさと教育の現状を理解していただいた。

町指定の文化財指定についても今後考えていきたい。

(案)長蔵寺の河尻家の墓

仙石秀久生誕の地の看板設置

大まや湊の道標



東野遺跡・梅替古墳 土器・石器展示



小6ふるさと巡り 見学事前勉強会

11 人権教育

人権教育は、憲法・教育基本法の本旨に則り、人権尊重の精神を貫くことによって、民主的な人間としての資質の向上と人間関係の醸成を図ることにある。

坂祝町の人権教育は、生涯学習の視点に立ち、乳幼児期からの発達段階を踏まえ、家庭教育・学校教育・社会教育が相互に連携を図りつつ、これを推進する必要があるとの考えから、下記のような人権同和教育を推し進めてきた。

(1) 具体的な方策

- ・各種講座において人権意識の高揚に留意し、あたたかい人間関係を醸成する。
- ・明るく心豊かな町づくりのための重要な問題として、社会人権同和、人権啓発活動の充実を図る。
- ・人権尊重の理解と実践のための学習機会を充実するとともに、資料の収集と整備を進める。
- ・教育機関と行政機関のネットワークづくりに努め、人権問題に関わる課題解決のための指導者の資質向上に努める。
- ・家庭教育における人権教育への関心を高め、思いやりの視点から学習を充実させる。

(2) 各期における社会人権同和教育

①就学前…… 乳幼児期は、人間形成の基礎を培う重要な時期であることを認識し、保育を通し、乳幼児が日常生活の基本的な事項を十分身に付けることができるよう努めた。また、家庭・地域や小学校などと連携し、豊かな情操を養い、一人一人が、思いやりと協調性に富み、互いの人格を尊重しあい、いじめや差別を生まない人間関係を醸成するようにした。

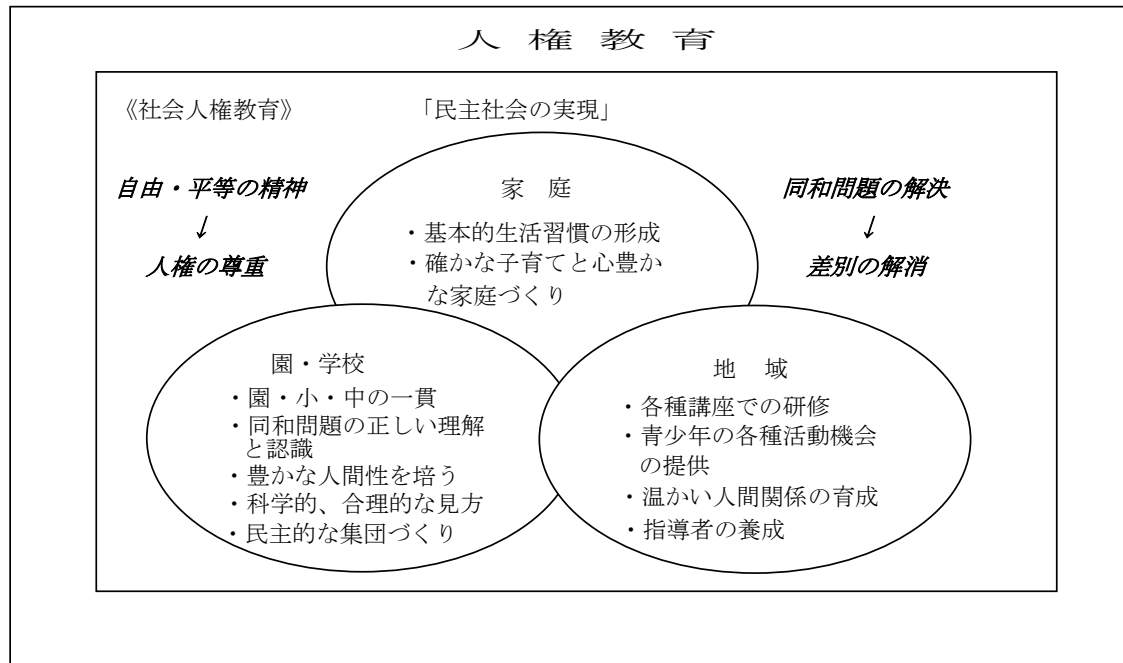
②学校教育…… 小・中学生期から高等学校に至る期間が、社会生活に必要な基礎的・基本的時期であることを踏まえ、児童生徒が互いの人格を認め合い、励まし合う学習活動を展開し、人権意識を高め、感性を磨き、差別の不合理性についての認識を深めることを通して、人権尊重の精神を培うようにした。

さらに、児童生徒がよりよい生活習慣を身に付け、学力を高め、自主・自立の精神と社会性を養い、生涯にわたり自己実現を図ることができるよう進路指導を充実するとともに、学校における取り組みについて、家庭や地域に理解と協力が得られるように努めた。

③社会教育…… 家庭や地域が、人間形成を図るうえで、大きな役割を果たす場であるということを認識するとともに、家庭や地域住民が相互に信頼し合い、尊敬し合い、人権意識に支えられた明るい家庭、心の通い合う地域づくりを進めるよう努めた。

また、社会教育の活動を通して、差別の不合理性についての理解を深め、社会連帯の大切さや働くことの尊さなどについて、自らの認識を見つめ直し、問題解決に主体的に取り組み、差別のない住みよい社会づくりを進めるよう努めた。

(3) 社会人権教育における家庭・学校・地域社会の役割と連携



(4) 実践

①町民人権講演会

開 催 日 令和6年12月7日（土） 午後2時から午後3時30分

講 師 南 修治 氏

講 演 コンサート『それでも生きる意味はある』

参加人数 100人



<人権講演会の様子>

人権講演会というタイトルを控えめにして「コンサート」を前面に出し、約100人の参加者があり、「君のままで素晴らしい」「だいじょうぶだからね」など自作の歌とエピソードを交えながらのコンサートを行った。

教育委員会関係事業における令和6年度の評価及び令和7年度の方途

坂祝町では、令和3年度からめざすまちの将来像を「新しい風を力に 魅力にあふれ 住み心地のよいまち さかほぎ」として掲げ、住民と協働しながらまちづくりを推進する「坂祝町第7次総合計画」がスタートしました。10年間をかけて社会の潮流やまちを取り囲む動きを踏まえ、「小さなまち」としての利点を活かし、住民との協働の継続や一人一人がまちとの関わりを持つことで、ゆるぎない地域生活の土台を築くことをめざしているところです。とりわけ教育においては「坂祝町第7次総合計画」で掲げる目標「豊かな心を育む教育・文化のまち」に基づいた「坂祝町教育大綱」の実現に向けて、地域とのつながりを活かしながら確かな実践に取り組んでおり、令和6年度はその4年目になります。

【評価及び評価基準】

- ・ 3段階評価（A・B・C）または、言葉での評価
- ・ 評価基準は点検項目ごとに設定

【教育課】

「坂祝町第7次総合計画」を基本とした坂祝町教育夢プランの「さかほぎいきいきプラン（坂祝町教育大綱）」による各種教育活動は、これまでの成果を踏まえた「豊かな心をもち、自ら実践するたくましい坂祝の子」の育成を願い、令和6年度も園・学校と家庭、地域が連携し「自立と共生」をキーワードとして進めてきました。また、坂祝町のよさを生かした保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校の連携と「生きる力」を育む教育の一層の推進を図るとともに、教育委員会による指導・支援、子どもたちの安全確保の推進や安心安全な教育環境の整備等を行ってきました。

I 教育委員会の活動

（1）教育委員会会議の運営と改善

点 検 項 目	R 3		A B C：評価基準 → ：R 6年度の結果を踏まえた所見 ⇒ ：R 7年度への改善に向けた具体的な方途
	R 4		
	R 5		
	R 6		
	R 7		
① 教育委員会会議の回数と効率化（定例会１２回、臨時会２回）	R 3	A	A：当初の予定通りに開催し、内容を充実し、活発な討議ができた。
	R 4	A	B：当初の予定通りに効率よく開催できた。
	R 5	A	C：見通しを持った開催、運営ができなかった。
	R 6	A	→全会議を対面にて実施した。会議資料を前渡しし、事前に目を通していただくことで、効率よく充実した会議を実施することができた。
	R 7		⇒今後も、資料の前渡しを行い、意見をもった状態で会議を行うようにする。教育委員会で話し合ったことを、校長会で伝え、園・学校現場の教育に活かすことができるようにする。

(2) 教育委員会会議の公開、並びに保護者や地域住民への情報発信

① 教育委員会会議の公開の工夫	R3	B	A：広報「さかほぎ」以外でも開催日等の広報活動を行った。
	R4	B	B：役場にて告示をし、開催日を周知した。
	R5	B	C：広報活動を何も行わなかった。
	R6	B	→傍聴者はいなかったが、公開できるよう役場の掲示板にて告示を行った。教育委員会は概ね水曜日に行われるが、前週の金曜日（3日前）には告示することができた。
	R7		⇒今後も早めに開催日を掲示板にて告示する。
② 会議録の情報発信	R3	A	A：会議の内容を広報「さかほぎ」やホームページ等で周知できた。
	R4	A	B：広報「さかほぎ」の教育委員会だよりを利用した広報活動ができた。
	R5	A	C：十分情報発信できなかった。
	R6	A	→町のホームページにも会議録を掲載した。ホームページの議事録を見ていただいたから感想をいただくなど周知ができた
	R7		⇒今後もできる限り、情報発信できるようにする。

(3) 教育委員会と事務局との連携

① 教育委員会と事務局との意見交換の実施	R3	A	A：意見交換で明確になったことを協議し、町の教育に活かすことができた。
	R4	A	B：定例教育委員会だけでなく、普段から積極的な意見交換を行った。
	R5	A	C：定例教育委員会のみでしか意見交換が行えなかった。
	R6	A	→教育委員が、新聞やニュース等で気になったことを、伝えていただき、教育委員会で資料を準備した上で話題とし話し合うことができた。話題となったことを、校長会で園・学校に伝えることができた。
	R7		⇒教育委員の意見を確実に校長会等で園・学校に伝え、改善を図ることができるようにする。

(4) 教育委員会と首長との連携

① 教育委員会と首長との意見交換会の実施	R3	A	A：具体的な方策まで協議し実践することで町の教育に活かすことができた。
	R4	A	B：具体的な意見を通して、積極的な協議ができた。
	R5	A	C：具体的な意見交流ができなかった。
	R6	A	→小・中学校のいじめ問題や幼小中の学習環境の整備に関する共通理解が図れた。10月と2月の総合教育会議では、町長、教育委員、園長・校長が出席し、抱える教育課題や情報交流を図ることができた。
	R7		⇒園・学校の現状について理解を得ながら、協議を重ね、町の教育がより充実するよう努める。

(5) 教育委員の自己研鑽

① 研修への参加状況	R3	C	A：研修会で学んだことを、その後の活動に活かすことができた。
	R4	A	B：研修会で学んだことを共有した。
	R5	A	C：研修会に参加できなかった。
	R6	A	⇒今年度は、高山市で岐阜県の市町村の研修会が行われ、各市町村の教育委員と交流するなど有意義な研修会となった。
	R7		⇒令和7年度も、坂祝町における教育の課題等に対して参考になんかすることは何かという視点をもって参加する。また、研修で学んだことで町の教育に活かせることは取り組んでいく。
② 近隣市町村の園・学校で開催される公表会や発表会への参加状況	R3	B	A：学んだことを町の教育に活かし、成果をあげることができた。
	R4	B	B：公表会等に参加し、学んだことを町の教育に取り入れることができた。
	R5	B	C：視察に行くことができなかった
	R6	B	⇒幼稚園・小中学校の授業研、なかよし会、運動会等に参加ができた。
	R7		⇒今後も客観的な視点から坂祝町の教育について見つめる機会として積極的に参加する。

(6) 園・学校及び教育施設に対する支援・状況整備

① 坂祝幼稚園並びに坂祝小中学校への教育委員会訪問	R3	B	A：2回以上訪問し、指導したことが活かされ改善することができた。
	R4	B	B：2回以上訪問し、現状を把握し、支援や状況整備に努めた。
	R5	A	C：1回のみ訪問した。
	R6	A	⇒幼稚園・小中学校の入学式・卒業式等学校行事や運動会を含む公開授業等を参観できた。教育委員会の定例会や総合教育会議で、写真や動画等を使った説明により、園や学校の実態を把握しながら話し合うことができた。
	R7		⇒訪問で把握した実態をもとに話し合ったことを、校長会等で積極的に伝え、話し合ったことが活かされるようにしていく。
② 他の教育施設への訪問	R3	A	A：多くの施設を訪問し、町の教育に活かすことができた。
	R4	A	B：多くの施設を訪問し、町の教育と比べながら学ぶことができた。
	R5	A	C：施設の訪問ができなかった。
	R6	A	⇒坂祝保育園、学校給食センター、乳幼児学級の様子を視察できた。それらの実態をもとに、定例会で話し合うことができた。
	R7		⇒坂祝町の教育の現状・課題に応じた教育施設への訪問を実施し、実態を把握した上で坂祝町の教育について考えるようにする。

③ 特別支援事業の推進	R3	A	A:園小中高の確かな引継ぎや連携による個の育成を図れた。 B:園小中高の確かな引継ぎができた。
	R4	A	C:連携も引継ぎもできなかった団体があった。 →保護者の了解のもとで検査結果や個別的教育支援計画等の引継ぎが確実にされた。個別的教育支援計画については、保護者とも定期的に懇談がなされて指導方法等について学校と保護者の合意形成が図られる体制になっている。町外に在園する園児についても見学や園との懇談を行った実態把握を小学校に引き継ぐことができた。
	R5	A	⇒教師の理解が進んでおり、個に応じた支援について配慮する雰囲気が高まっている。今後は特別支援コーディネーターを中心にさらなる理解を深めて、児童生徒への思念につなげていきたい。
	R6	A	
	R7		
④ 不登校対応	R3	B	A:不登校の要因を探り、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、他の機関と連携を図りながら一人一人にあった支援をすることができた。
	R4	A	B:不登校児童生徒の情報を共有し、支援方法を探ることができた。 C:改善につながる支援ができなかった。
	R5	A	→スクールカウンセラーと連携し、当該児童生徒やその保護者との面談を継続的に実施し、支援の方向性を共有することができた。また、社会福祉協議会・こども課等とも連携し、情報共有をしながら継続的な支援を行うことができた。中学校においては校内支援センター（さわやか教室）の活用、校外支援センターの適応指導教室（加茂郡あすなろ教室）との連携により、当該生徒にとって最も適した支援を探ることができた。
	R6	A	⇒小中学校との情報共有を大切に、個に応じた支援ができるよう、他の関係機関・小中学校と連携を図りながら、一人一人の社会的自立をめざして個に応じた対応ができるようにする。
	R7		

(7) 園・学校を核とした地域との連携

① コミュニティ・スクールの推進	R3	記述評価	○運営協議会及び協働本部の、会議の内容充実を図る。さらには、地域の方々への認識をさらに広め深めることができたか。
	R4	記述評価	→ボランティアも少しずつではあるがコロナ禍の前にもどりつつある。第3回のCSの会では、1年のまとめとしてプレゼンで紹介した。
	R5	記述評価	その中には児童生徒が主体的な動きを見せた姿や、活動が点ではなく、線の活動になったことで、「だいすき SAKAHOGI」と言える子の姿を紹介した。岐阜大学地域協働センター長の益川浩一先生からは、「学校が解放されて地域とうまく協働ができている。毎年活動が進化をしている。」な
	R6	記述評価	

	R 7		どの高評を得ることができた。 ⇒6年間の活動のまとめとして東海北陸大会で発表をして、様々な意見をもらうことで次につなげていきたい。
--	-----	--	---

Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務

① 学校教育又は社会教育に関する基本方針を定めること ※教育大綱(いきいきプラン、めざす姿、指導系統表)	R 3	A	A：改善に向けて十分に協議し改善を図った。
	R 4	A	B：改善に向けて十分協議した。
	R 5	A	C：改善に向けて協議できなかった。
	R 6	A	→令和元年度に策定した坂祝町教育大綱については大きな変更はないが、「令和の日本型教育」～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～に合わせて定めることができた。
	R 7		⇒第7次総合計画のもと、時代のニーズと町の実態に応じた教育大綱の修正を行う。
② 校長や園長、教員その他の教育関係職員の研修の基本方針を定めること ※学校評価アンケートに該当する質問がある	R 3	A	A：研修で学んだことを、園児・児童生徒の指導に活かすことができた。
	R 4	A	B：園・学校において、有意義な研修の機会を計画実施できた。
	R 5	A	C：園・学校において、有意義な研修を計画することができなかった。
	R 6	A	→各園学校において、管理職の指導のもと、計画的に研修がなされている。県事務所からの要請訪問を各園学校で2回実施し、職員の授業力向上に努めることができた。
	R 7		⇒研修主事を中心に、教職員の力が身に付くよう研修に積極的に取り組めるようにする。

Ⅲ 教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務

〔園・学校教育関係〕

Ⅰ 「豊かさ・確かさ・たくましさ」があふれる坂祝町の教育の推進について

(1) ①②③及び(2) ①における評価基準の文中「A」「B又はC」「D」とは、幼稚園、小中学校の職員による4段階(A～D)による自己評価のことである。幼稚園、小中学校職員による自己評価の基準は以下の通りである。

- | | | |
|---|------------------|------------|
| A | 十分達成できたと考えられる。 | (4点として得点化) |
| B | おおむね達成できたと考えられる。 | (3点として得点化) |
| C | もう少し努力が必要と考えられる。 | (2点として得点化) |
| D | かなり努力が必要と考えられる。 | (1点として得点化) |

Ⅰ 「豊かさ・確かさ・たくましさ」があふれる坂祝町の教育の推進について

(1) 幼小中連携のもとで、一人一人に「生きる力」をはぐくむ教育の推進

①〔豊かさ(徳)〕 豊かな人間性や社会性の育成 ※学校評価アンケートに該当する質問がある	R3	A	A：園・小中学校の職員の平均得点が3点以上。 B：園・小中学校の職員の平均得点が2点以上3点未満。 C：園・小中学校の職員の平均得点が2点未満。
	R4	A	→園・学校全体としては、互いの良さに目を向け認める場を設けたり、職員が認めたりすることで、相手を尊重し思いやる姿が見られるようになっている。小中学校において道徳教育計画訪問を機に、小中学校の連携のもと、道徳教育の在り方を再認識することができた。心を育くむ道徳の授業の充実と、「ぎふ、いのちの教育」の実践について、諸活動との関連を図りながら、全教育活動を通して行うことができた。 ⇒人権に関わる取組や道徳の時間を核とし、全教育活動の中で、人権感覚と道徳心を育てていく。そして、一人ひとりの成長をきちんと掴み、評価できるようにし、人間性や社会性を高めていくことを継続していく。
	R5	A	
	R6	A	
	R7		
②〔確かさ(知)〕 自ら学び自ら考え基礎基本を着実に身につける力の育成 ※学校評価アンケートに該当する質問がある	R3	B	A：園・小中学校の職員の平均得点が3点以上。 B：園・小中学校の職員の平均得点が2点以上3点未満。 C：園・小中学校の職員の平均得点が2点未満
	R4	A	→基礎学力の定着に向けて、教材の準備等工夫し授業に臨むことができている。タブレットPCを活用し、個に応じた個別最適な学習等で活用することができた。また、校内で子どもがオンラインでつないで、学ぶ機会を設けることもできた。 ⇒「主体的・対話的で深い学び」の具現に向け、ICTを積極的に活用し、有効な活用方法を探る。
	R5	A	
	R6	A	
	R7		

③ [たくましさ (体)] 一人一人の自己実現に生きては たらく資質や能力の育成 ※学校評価アンケートに該当す る質問がある	R3	A	A：園・小中学校の職員の平均得点が3点以上。 B：園・小中学校の職員の平均得点が2点以上3点未満。 C：園・小中学校の職員の平均得点が2点未満 →たくましさを育てる場面を意図的に仕組んだ、幼稚園や小学校の低学 年では、遊びを通して環境構成を工夫し、心のたくましさ育むことが できるよう、継続して指導ができた。小学校は「チャレンジスポー ツ in ぎふ」に積極的に参加し上位入賞を果たしている。 ⇒全教育活動を通して、厳しさの中にも良さを認めることを大切にする ことで、やり抜く力や我慢強さ等を培っていく。
	R4	A	
	R5	A	
	R6	A	
	R7		

(2) 幼稚園、小学校、中学校の教育目標が一人一人の姿に具現される幼稚園・学校経営について

① 明るく魅力ある園・学校の経営方針 の実施と見届け ※学校評価アンケートに該当する質問 がある	R3	A	A：園・小中学校の職員の平均得点が3点以上。 B：園・小中学校の職員の平均得点が2点以上3点未満。 C：園・小中学校の職員の平均得点が2点未満 →管理職のリーダーシップのもと、園・学校の運営方針の具現に向け取 り組まれた。全職員が真摯に職務に臨んでいる。 ⇒教育への熱意を大切にし、やりがいを感じながら教育活動に取り組み るよう、「働き方改革」を進めながら、園・学校運営がなされるように していく。
	R4	A	
	R5	A	
	R6	A	
	R7		
② ふるさと教育とキャリア教育の推 進	R3	記述 評価	○ふるさと坂祝への愛着を持たせる指導の工夫ができたか。 ○将来の夢や希望の実現に向け、ねらいを明確にした体験活動等を位置 付けたり、個に応じた指導・援助を行ったりすることができたか。 →地域の魅力を活かしながら多くのふるさと学習ができた。(仮称)坂祝 科として、小中一貫したふるさと学習を進めることができた。坂祝町 のコミュニティ・スクールのふるさと絆委員会ともタイアップしながら、 地域の大人たちが子どもたちと多くふれ合うことができた。 ⇒大人から、子どもへの発信や指導が多かったが、子どもから大人への 発信も同時に増やしたい。子どもの思いを吸い上げた活動の展開を模 索する。
	R4	記述 評価	
	R5	記述 評価	
	R6	記述 評価	
	R7		
③ 園・学校の説明責任と資質向上	R3	A	A：園・学校は運営協議会委員の意見を参考にして様々な改善をした。 B：園・学校は運営協議会委員の意見を参考にして改善を図ろうとした。 C：園・学校は運営協議会委員の意見を活かすことができなかった。 →園・学校運営協議会において、園・学校の説明を丁寧に行うことで、 現状を理解いただきながら、運営することができた。 ⇒学校運営協議会において、承認された園・学校経営方針のもと、地域 の方の意見を大切にしながら運営できるようにする。
	R4	A	
	R5	A	
	R6	A	
	R7		

④ 園・学校における施設と設備の整備と充実	R3	A	A：計画に基づく更新・整備を確実に行うとともに、学校の要望に応じた整備や突発的な整備についても対応した。
	R4	A	B：計画に基づく更新・整備を確実に実施した。
	R5	A	C：更新・整備を行わなかった。
	R6	A	→予算に計上した物品の整備や施設修繕等、計画的に実施することができた。また、雨漏り等突発的な修繕等も随時対応することができた。
	R7		⇒次年度も予算計上した物品整備・工事・修繕等、計画的に実施できるようにする。
⑤ ICTの整備と充実	R3	記述評価	○ICT教育の充実に向け、より使用しやすい環境づくり、整備に努めることができたか。
	R4	記述評価	→GIGAスクール構想により整備したネットワークや機器等について、適切な保守・維持管理を実施することができた。
	R5	記述評価	⇒次年度も引き続きGIGAネットワークや機器の適切な保守・維持管理を実施できるようにする。また、第2期GIGAスクール構想に向けて小中学校のアクセスポイントの更新も計画的に実施していく。
	R6	記述評価	
	R7		
⑥ 学校の事故・防犯対策と坂祝町地域学校安全サポートチームの充実	R3	記述評価	○サポートチームとの連絡を密に、連携を大切にしながら事故や事件に対する対策をしっかりと行い、その防止に努めることができたか。
	R4	記述評価	→すぐるを活用し、連絡体制を強化することができた。小中学校と連携を図り、情報共有をしながら見守り活動等を実施することができた。
	R5	記述評価	⇒ボランティアメンバー新規加入者の募集を継続していく。
	R6	記述評価	
	R7		

2 学校給食センター

① 安全でおいしい学校給食の提供	R3	A	A：保護者・園・学校からの除去対応もれの指摘を1食も受けない。
	R4	A	B：保護者・園・学校からの除去対応もれの指摘を1～4食受けた。
	R5	A	C：保護者・園・学校からの除去対応もれの指摘を5食以上受けた。
	R6	A	→アレルギー対応が必要な全ての園児・児童・生徒に、一人一人の状況に対応した可能な限りの除去食提供ができた。
	R7		⇒今後も給食の献立内容をしっかり確認して除去食を提供していく。
② 食に関する指導の充実	R3	A	A：「我が家の朝ごはん」「図書献立」の月1回実施と、「給食だより」での食育の情報提供が100%できた。
	R4	A	B：「我が家の朝ごはん」「図書献立」の月1回実施と、「給食だより」での食育の情報提供が80%以上、100%未満であった。 C：「我が家の朝ごはん」「図書献立」の月1回実施と、「給食だより」での食育の情報提供が80%未満であった。

	R 5	A	→「我が家の朝ごはん」では、児童生徒から応募された中からバランスの良いものを給食で再現して紹介した。また、「図書献立」では、図書の中に出てくる食事を再現するなどして、子どもたちが給食に興味を持てるような取り組みができた。「給食だより」には「我が家の朝ごはん」の紹介や食育情報、給食レシピなどを掲載して情報提供ができた。 岐阜県学校給食選手権に、中学２年生のチームが出場。「わが家のおすすめ朝ごはん」の活動を土台に、地元食材を取り入れた献立とプレゼンや調理の手際の良さにより、２年連続で最優秀賞を受賞することができた。 ⇒今後も食育の情報提供をしつつ、内容を充実させていきたい。
	R 6	A	
	R 7		
③ 安全管理と衛生管理の徹底	R 3	B	A：指示書に従い１００％完全な衛生的作業を確認した。 B：指示書に反した不完全な衛生的作業を１０％未満だけ確認した。 C：指示書に反した不完全な衛生的作業を１０％以上確認した。 →食中毒等を発生させないように、しっかりと衛生基準を守り、安心安全な給食を提供するための調理作業ができたことを確認できた。 ⇒今後も衛生基準を守り、安心安全な給食を提供できるようにしたい。
	R 4	A	
	R 5	A	
	R 6	A	
	R 7		

〔社会教育〕

坂祝町の社会教育は町民憲章の基本方針を踏まえ、生きがいのある生活を積極的に創り出すため、住民の意欲に応じた生涯学習やスポーツ、文化活動の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らすことができる環境をめざしていきます。

また、教育夢プラン「さかほぎ いきいきプラン」の具現に当たり、家庭・地域の教育力の充実を図り、自らが主体的に取り組み、参加する生涯学習の「まち」を推進していきます。

Ⅰ 坂祝町における生涯学習（さかほぎいきいきプラン）の振興

① 生涯学習推進体制の充実	R 3	B	A：新しい講座を取り入れ、受講者のニーズに合わせた講座を開催できた。
	R 4	A	B：受講者のニーズに合わせた講座を開催できた。 C：受講者のニーズに合わせた講座を開催できなかった。
	R 5	A	→中央公民館講座そしてマイセルフ講座についても前期・後期と充実した内容で開催できた。定住自立圏域内の市町村にない内容の講座で講座数も多く企画することができた。
	R 6	A	⇒令和 7 年度においても引き続き受講者のニーズに合わせた講座を企画し、地域・住民が生きがいを持ち、心豊かな生活が継続できるよう進めていきたい。子ども講座についてはオンラインでの申し込みを可能にし、受講の機会を多く提供していきたい。
	R 7		

2 生涯学習の推進と内容の充実

① 家庭教育(乳幼児期を除く)	R 3	記述 評価	○園・学校の家庭教育学級の充実を図るとともに、家庭教育の情報を提供し、保護者が親としての役割や家庭の在り方等について考え、家庭教育への理解を深めることができたか。 →各園・学校においては、家庭教育学級担当職員と保護者が連携して、各園学校独自の取組を行うことができた。小学校は在宅型取組「ハグする時間家族でラブラブデー」にて、親子のふれ合いの時間を充実させる取組を行い、家庭教育通信を発行することで思いの共有を図ることができた。 ⇒坂祝町の子育てに関わる方々が、参加してよかったと思えるような講座・講演会を企画運営する。
	R 4	記述 評価	
	R 5	記述 評価	
	R 6	記述 評価	
	R 7		
② 青少年教育	R 3	記述 評価	○青少年健全育成の方針「21世紀を心豊かに、たくましく生きぬく青少年の育成」に向け、体験活動を通じて、規律、協調、他人への思いやり等の精神を培うとともに、郷土を愛し心豊かでたくましい青少年の育成に努めます。また、青少年期の節目として大人への自覚や将来への夢・希望を持つことができる青少年の育成に努めたか。
	R 4	記述 評価	

	R 5	記述 評価	→令和6年度は「青少年育成町民の集い～元気なさかほぎ発表会～」のほか、青少年部会にて工場見学及び瓦でものづくりを行う教室を開催した。また、家庭部会においては、親子でトマト農場収穫体験・見学を開催した。どちらの行事も町内に優れた事業所があるということを再認識する機会となり、また親子の絆を深める体験の場となった。 ⇒令和6年度は充実した企画を実施することができた。来年度以降は今までと同じように事業を実施しつつ、2つの部会を1つに統合して夜間会議の開催回数を減らし、児童保護者役員の負担軽減を図る。
	R 6	記述 評価	
	R 7		
③ 成人教育	R 3	A	A：県・町の行政や企業とも連携を深め、現代の問題や必要課題に結び付けられる内容になった。また定員の8割以上の方が受講した。 B：県・町の行政や企業とも連携を深め、現代の問題や必要課題に結び付けられる内容になるようにしていく。また定員の8割～6割の方が受講した。 C：定員の6割未満の受講だった。 →県・町の行政や企業と連携を取り、現代問題や課題に関心を持って学びを深めることができた。受講者の希望も多く定員を超えて受講した。 ⇒令和6年度の引き続き行政や企業とも連携を深め、内容を充実して多くの方に受講してもらえようようにしたい。
	R 4	A	
	R 5	A	
	R 6	A	
	R 7		
④ 高齢者教育	R 3	C	A：70人程の受講があり、高齢者が元気で社会参加と仲間づくりの輪を広げ自ら学ぶ姿勢を作ることができた。 B：50人程の受講があった。 C：定員の半分にも満たなかった。 →高齢者の心と体の健康と学びを大切に開講できた。公民館まつりでも合唱を披露することができた。興味や趣味が多様化する中で一律に高齢者教育を公民館講座として開催していくことは難しい状態になってきている。高齢者自ら新しい学びに取り組む姿勢を醸成したい。現在の3段階評価では評価しづらくなっている。 ⇒令和7年度もより内容を充実し、受講生が自ら地域で広く仲間と学びあう機会として、受講者数を増やしていきたい。
	R 4	C	
	R 5	B	
	R 6	B	
	R 7		

3 公民館活動の充実

① 公民館行事や内容の充実	R 3	C	A：各事業への参加者が前年を上回り、新しい企画も増え、より盛況に開催できた。 B：各事業への参加者が前年並みであった。 C：各事業への参加が前年より少なくなった。 →公民館まつりもやっと飲食を再開することができ賑わいが戻ってき
	R 4	A	
	R 5	B	

	R 6	A	た。今回２０回目の開催になるため特別ステージと特別講演会、プチ体験スタンプラリーを行った。２日間とも多くの来館者があった。
	R 7		⇒開催目的をしっかりと踏まえ、学びあい、触れ合う祭りにしていきたい。体験コーナーを増やしていくことでより目的に合う祭りになっていくと思う。
② 施設や設備の充実	R 3	A	A：点検を進めながら、修繕等し維持ができた。
	R 4	A	B：点検はしたが、維持のための修繕が進んでいない。
	R 5	A	C：点検も修繕も進んでいない。
	R 6	A	→施設の使用に支障が出ないよう点検に努め、修繕が必要な箇所については修繕工事を行った。
	R 7		⇒竣工から３５年以上経過しており、公民館の経年劣化は進んでいる。今後も継続していくのであれば、至るところで大規模改修が必要となる。
③ 人権教育の推進	R 3	B	A：人権意識を高めるために、講演会をはじめいくつかの取り組みを行うことができた。
	R 4	B	B：人権意識を高めるために、人権講演会を実施することができた。
	R 5	B	C：人権意識を高める取り組みができなかった。
	R 6	B	→令和６年度は役場窓口税務課が主となって開催を行った。『それでも生きる意味はある』をテーマに、南修治氏によるギターとキーボードのコンサートとトークを行い、約１００人の参加者があった。
	R 7		⇒来年度以降も参加者が来なくなるような講師を選定し、多くの方に人権意識を広めたい。

4 生涯スポーツの推進

① スポーツ活動の推進	R 3	C	A：町主催のスポーツイベントを3つ以上開催した。
	R 4	A	B：町主催のスポーツイベントを2つ以上開催した。
	R 5	A	C：町主催のスポーツイベントが1つ以下の開催。
	R 6	A	→ミニバレーボール大会・スポーツレクリエーションフェスティバル・ロマンチック街道マラソンは、前年度より参加者が増加した。
	R 7		⇒より多くの人々がスポーツイベントに参加できるよう、増えているニーズに応えられるイベント開催を検討したい。
② 体育施設の有効活用	R 3	C	A：社会体育・教育施設利用率80%以上
	R 4	C	B：会議室を除き利用率80%未満
	R 5	B	C：会議室を除き利用率64%以下
	R 6	B	→町外利用の団体が増え、施設を多くの人に利用してもらうことができた。大きなトラブルもなく、安心して使ってもらうことができた。
	R 7		⇒来年度からは料金改定を行い、増額する。また、町外料金を新たに設け、施設の貸出をしていく。来年度も、隔月で新規団体への説明会を行い、詳しく説明し、理解をしてもらう。
③ 各種団体の指導・育成	R 3	A	A：各団体の役員会、定例会を前年と同数以上実施し、活動が充実できるようにできた。
	R 4	A	B：各団体の役員会、定例会の開催回数が前年より2回以上減った。
	R 5	A	C：各団体の役員会、定例会の開催回数が前年より4回以上減った。
	R 6	A	→スポ少、体協、スポーツ推進委員会、スポーツクラブがそれぞれ役員会・定例会を開催し、各々の活動が充実できるよう会議ができた。また、中学校クラブについても代表に向けて説明等できた。
	R 7		⇒体協、スポ少の団体が減少しているため増加できるように働きかけていきたい。また、指導者等の質の向上が必要。

5 文化の推進

(1) 文化活動の推進

① 文化振興の推進	R3	A	A：定期的に事業を開催できた。年10回以上 B：事業を開催できた。年5回から9回
	R4	B	C：事業の開催が4回以下で、参加者も少なかった。
	R5	B	→5月に西尾諭子さんと小関なぎささんの2名による「紙ひこうき」に演奏を依頼し、タウンコンサートを開催した。来場者数は約100人であった。また、岐阜県では「清流の国」文化祭が開催され、坂祝町においても「ふるさとまつり」を開催し、町の文化振興に努めた。
	R6	B	⇒タウンコンサートについて、来場者数は多くはないが来場者からの評判は良い。周知方法を見直していく。
	R7		
② 文化団体の育成	R3	C	A：各部会の人数が増えた。 B：各部会の人数が変わらなかった。
	R4	B	C：各部会の人数、部会の数が減った。
	R5	C	→文化協会では、令和6年度から歌謡部が休会された。岐阜県において「清流の国」文化祭が開催されたが、坂祝町においても「ふるさとまつり」を開催し、各文化団体が出展・発表を行うことができた。
	R6	C	⇒各部会が減ってきているため、文化協会のPR周知が必要。
	R7		
③ 文化施設や資料館の活用	R3	C	A：町内の企業や団体の利用が増え、郷土資料館のデータ資料も含め利用できた。
	R4	B	B：昨年並みの利用だった。 C：利用が減った。
	R5	A	→郷土資料館を令和6年4月にリニューアルオープンした。毎週木曜日に開館するようになり、9か月で1000人の来館者を迎えることができた。幼稚園児からデイサービスの利用者まで幅広い年齢層に来ていただきことができた。
	R6	A	⇒坂祝町の新しい文化施設・福祉施設・社会教育施設として多目的に活用できるよう進めていきたい。令和7年度も町民参加型の特設展示を工夫しながら企画し、多くの方に来ていただけるようにしていきたい。
	R7		

(2) 文化財の保護と活用

① 文化財の保存と活用	R3	B	A：名勝木曽川・埋蔵文化財・県、町指定の文化財の保護と活用を積極的に進めることができた。
	R4	B	B：名勝木曽川・埋蔵文化財・県、町指定の文化財の保護と活用の新しい取り組みができなかった。 C：積極的に取り組むことができなかった。
	R5	A	→名勝木曽川・埋蔵文化財・県、町指定の文化財の保護を積極的に進めることができた。小中学校の先生の研修や小学生のふるさと学習でも文

	R 6	B	化財の保護と活用について考える機会を取り入れた。公民館講座「ぶらっと坂祝」において文化財にふれる内容を取り入れている。 ⇒郷土資料館において文化財を周知・活用できる内容の展示を考えていきたい。公民館講座「ぶらっと坂祝」においても文化財にふれる内容を取り入れていきたい。文化財の保護と活用については今後さらに積極的に行ってきたい。
	R 7		
② 文化財や郷土芸能等の伝承と保護	R 3	B	A：多世代に文化や郷土芸能等の伝承や保護に繋げる事業ができ、成果を上げることができた。
	R 4	B	B：文化や郷土芸能等の伝承や保護に繋げる事業ができたが、成果につなぐことはできなかった。
	R 5	A	C：企画に工夫が必要だった。
	R 6	A	→各地区で伝統文化や郷土芸能等の伝承や保護が盛んになってきている中、小中学校での授業や国民文化祭において町民に披露する機会を多く設けることができた。小学校3年生のふるさと学習では祭囃子や坂祝盆踊りを数回授業に取り入れたことで、しっかりと伝承することができた。
	R 7		⇒令和6年度に引き続き小学校での授業に取り入れてもらい、町民に披露する機会を設けていきたい。
③ ふるさと教育の推進	R 3	A	A：町民向けに、故郷に誇りと愛着を持ち、理解を深める為の事業を企画・開催し、一定の成果を上げることができた。
	R 4	A	B：町民向けに、事業を企画・開催し、成果を上げることができた。
	R 5	A	C：町民向けに、事業を企画・開催しなかった。
	R 6	A	→ふるさとを知り、ふるさとに誇りと愛着が持てる事業として国民文化祭を開催することができた。また公民館講座（例：高齢者講座・ぶらっと坂祝など）を継続し、町民が故郷に誇りと愛着が持てる機会をつくることができた。
	R 7		⇒リニューアルオープンした郷土資料館を上手く活用し、先人から繋いだふるさとの歴史や文化・生活を伝え、これからもこの地で生活できることに感謝と誇りを持てるよう企画・開催していきたい。

6 図書館

① 館内の環境づくりと蔵書の充実	R3	B	A：蔵書の充実と共に、除籍本の選定や閉架庫へ本を移動し、利用しやすい環境状態となった。
	R4	A	B：蔵書の充実を図った。 C：蔵書の充実が図れなかった。
	R5	A	⇒随時、特集コーナーを作成し、普段読まない本を手にとって、見て、借りてもらえるように「利用者」と「本」の出会いの場をつくった。
	R6	A	⇒館内整理をその都度実施して、利用しやすい雰囲気を維持していく。
	R7		
② 利用者へのサービスの充実	R3	A	A：サービスの充実を図ったことで、前年度より年間貸出数が増加した。
	R4	B	B：サービスの充実を図ったが、前年度と概ね同じ年間貸出数であった。
	R5	A	C：サービスの充実を図ったが、前年度より年間貸出数が減少した。 ⇒令和6年度より、毎週月曜日が休館日に設定した。貸出冊数に、年間稼働日が少なくなった影響が見受けられる。
	R6	B	⇒利用者の要望に応えられるように、可能な限り購入をしていく。対応できない場合は、岐阜県内の図書館で相互貸借をして対応をしていく。
	R7		
③ 読書活動サークル・ボランティアの育成と活動の支援	R3	B	A：サークル・ボランティアの活動への支援により、新メンバーが加入したり、活発な活動が行われたりした。
	R4	B	B：サークル・ボランティアの活動の支援ができた。
	R5	A	C：サークル・ボランティアの活動の支援ができなかった。 ⇒お昼休みの「わくわくタイム」が復活した。また、反省会の時に「よみきかせの方法や選び方」をオレンジママさん同士で交流する場を設けた。
	R6	A	⇒オレンジママさん同士の交流が好評でした。来年度以降も継続していきたい。
	R7		
④ 子どもの読書活動推進計画の実施	R3	B	A：アンケートの実施と結果の公開ができ、更に、前年度の結果より、各家庭での読み聞かせの充実が図れた結果となった。
	R4	B	B：アンケートの実施と結果の公開ができ、「Open Book」を発行した。
	R5	B	C：アンケートが実施できなく、「Open Book」を発行しなかった。 ⇒バンビーニに来所する親子は増加しているが、小中学校では、「よみきかせ」「読書」に対する時間や授業中に図書館を利用する時間が共に減少した。
	R6	B	⇒小中学校での授業中に、タブレットだけではなく関連する図書資料を利用してもらえるよう、公共図書館と連携、担当教科の先生から情報を収集して、図書館を利用して調べる機会を充実していきたい。
	R7		

7 子ども会活動の推進

① 子ども会活動の推進	R 3	記述 評価	○子ども会理事会で研修会の内容を周知し、単位子ども会において各活動に活かしてもらったり、J L Cに研修会への参加を呼びかけ、積極的に参加してもらったりすることで、学んだことを坂祝町で行われる行事や子ども会行事に活かしてもらうことができたか。 →インリーダー研修会やふれあい交流会（チャレラン）が開催でき、活動が充実してきた。ふれあい交流会は、出し物を単位子ども会が1ブース受け持つことで責任を持って役割を果たすことができた。 ⇒令和7年度から各地区の子ども会が4団体から2団体に減るため、役職や行事内容を工夫したい。
	R 4	記述 評価	
	R 5	記述 評価	
	R 6	記述 評価	
	R 7		

【こども課】

令和6年度は「坂祝町子ども・子育て支援事業計画」の最終年であり、計画に沿った各種事業を推進しました。また、次期計画となる「坂祝町こども計画」を策定しました。

地域子育て支援拠点事業（つどいの広場アンブレラ）及び地域療育支援事業・親子療育通園事業（つくんこ教室）は、バンビーニで順調に事業を行うことができています。

放課後子どもプランでは、放課後子ども教室推進事業（子ども教室）と放課後児童健全育成事業（子どもクラブ）を連携して行っています。

1 放課後子どもプラン（子ども教室・子どもクラブ）の推進

① 事業内容の充実	R3	記述 評価	A：満足度についてのアンケートの回答が7割「楽しい」になっている。 B：満足度についてのアンケートの回答が5割「楽しい」になっている。 C：満足度についてのアンケートの回答で「楽しい」の割合が5割未満。 →満足度についてのアンケートを実施しなかった。 ⇒令和7年度は子どもたちが興味持てるプログラムを計画していきたいと思う。
	R4	A	
	R5	A	
	R6	C	
	R7		
② 地域や他の諸機関との連携	R3	C	A：新規の講師によるプログラムを3回以上実施できた。 B：新規の講師によるプログラムを実施できた。 C：新規の講師によるプログラムが実施できなかった。 →新規の講師によるギター体験、ボーカル体験を実施することができた。 ⇒令和7年度では、子ども教室での実施や、新規講師によるプログラムを計画していきたい。
	R4	C	
	R5	B	
	R6	B	
	R7		

2 乳幼児期子どもプランの推進

① 乳幼児期家庭教育学級の充実	R3	B	A：毎回のアンケートを実施し、満足度80%以上を達成できた。 B：満足度60%～79%だった。 C：満足度59%以下だった。 →各学級、毎回アンケートを実施した。学習内容により満足度にばらつきはあったが全体の平均が95%と高い満足度を得ることができた。 ⇒乳幼児期の家庭教育に必要な学びを大切にしつつ、学級生の意見も取り入れ参加しやすい学級運営をめざす。
	R4	A	
	R5	A	
	R6	A	
	R7		

② つといの広場(アンブレラ)の充実	R3	B	A：イベントや講座を開催し、子育て世代だけでなく多世代との交流ができた。
	R4	B	B：イベントや講座を開催し、子育て世代の交流ができた。 C：イベントや講座の開催ができなかった。
	R5	A	⇒イベントとしてハロ祝マルシェを今年度も2回実施できた。様々な団体と一緒に開催することができ、子育て世代だけでなく、地域の方にも来場いただけるマルシェとなった。
	R6	A	⇒マルシェは今後も継続的に実施していきたい。運営ボランティアの意見を積極的に取り入れ変化のあるイベント実施を心がける。また、子育て世代を対象とした講座も充実させる。
	R7		

3 療育相談支援事業の推進

① 発達支援地域療育システムの推進	R3	B	A：各所で理解が深まり具体的な支援や動きにつながった。 B：支援内容や対象児について各所で共通理解できた。 C：会議だけで留まってしまった。
	R4	B	⇒町内の園・学校への訪問を定期的に行い、困り感のある幼児、児童の実態を共通理解し、支援方法について先生方と検討することができた。
	R5	A	また、町外の園に通園している年長児の園訪問を行い、情報を共有できた。
	R6	A	⇒令和7年度も困り感のある児についての情報共有を行い、支援方法について共通理解をし、必要な支援につなげていく。
	R7		
② 親子療育通園事業（つくんこ教室）の充実	R3	B	A：対象児が利用しやすい環境を整え、個の育成を図れた。 B：環境を活かし、実践を継続できた。
	R4	A	C：事業を継続するだけに留まった。
	R5	A	⇒定員を見直したことで受け入れられる幼児数と職員数の見直しを行い、対象児が安心して通級できる環境等を整え、実践を重ねられた。
	R6	A	⇒より実践を重ね、個の育成を図るとともに、他機関との連携や相談業務の充実を図る。相談できる場の周知と相談しやすい環境を整える。
	R7		

＜坂祝町教育委員会事務局＞

【教 育 長】三品芳則

【教 育 課】堀部芳章、前田加代子、林伸孝、三品慎伍、若井健太、村瀬広法、飯沼由紀子、小島瑞貴、
榎本雅教、高田恵里子、宮内智鶴子、佐藤佳世、里路直也、片桐武重、藤井千恵美
(給食センター) 金森孝臣、渡邊健人

【こども課】岩井正義、兼松愛、野村京子、森田早貴、曾我和樹、足立晃規

令和7年3月31日 現在

〒 5 0 5 - 0 0 7 1 岐 阜 県 加 茂 郡 坂 祝 町 黒 岩 1 2 6 0 番 地 1 坂 祝 町 中 央 公 民 館

電 話 0 5 7 4 - 6 6 - 2 4 0 9 F A X 0 5 7 4 - 2 6 - 7 0 9 7